年中無休刊(日曜祭日翌日休刊)　(明治卅九年九月八日第三種郵便物認可)　(金曜日)　THE KEIJO NIPPO　大正六年九月十四日　(一)

京城日報

十三日夕刊

定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金六十五錢
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

◎鐵禁解除條件如何

日本船舶の協商側提供說

紐育に於て風說する所によれば石井特使は鐵禁輸解除を條件として現在日本に於て建造中の船舶を協商國側に提供すべく米國政府と協商中なりと(紐育電報)

◎露閣員總辭職

露國内閣はケレンスキー氏をして自由に手腕を揮はしめん爲め總辭職をなしたり」(倫敦電報)

▲露國内閣は首相ケレンスキー氏を除き閣員全部總辭職を爲せり(露都電報)

◎波艦隊ヶ首相擁護

露國首相ケレンスキー氏は聲明して曰く「波羅的艦隊は全部余を擁護す」と(露都電報)

◎平和的解決は絶望

露國首相ケレンスキー氏とコロニロフ將軍との爭議は最早平和的に解決する事絶望となれりコロニロフ將軍は軍令權を拋棄せず將軍に附隨する一個師團の兵はプスコフを出發し露都に迫りつゝあり(露都電報)

◎哥薩克代表者調停

哥薩克兵代表者は首相ケレンスキー氏をコルニロフ將軍との間に在りて極力調停すべき旨を申出でたり(露都電報)

◎コロニロフ將軍進擊(別報)

コーカシア、ゼヲルジア及び其他歐洲以外の兵士を以て組織さるゝ一個師團の兵はコロニロフ將軍の命令を遵奉して露都に向ひ今やペトログラードを距る三十哩のヴヰルツアに到著したり(倫敦電報)

◎コ將軍の辭職

コロニロフ總司令官辭職の原因はリガ陷落に關聯しコロニロフ將軍が勞兵會を根據とし一切の權力の讓渡し方を政府に要求したるに對し政府が之を拒絶したる爲なり、政府は此の顛末を一般に發表すると共に反政府運動を防遏するため露都に戒嚴令を布きたり(長春特電)

◎露都出入制限

露都來電、露國政府は今回ペトログラード出入制限に關する命令を制定し公務を帶びざるもの並びに露都に移住せざるもの、露都に入ることを一切禁止し露都附近各停車場に檢閲官を派遣し地方停車場に命じて證明なきものに對する露都行乘車券の發賣を差止めたりと(長春特電)

◎佛國陸相内閣引受

國民内閣を組織せん

佛國陸相パンルーヴヱ氏は擧國一致内閣を造らんため黨派に關係なき國民内閣を組織する主意を以て是が組織を承諾したり(巴里電報)

◎帝國拒絶か

法王の講和提議

羅馬法王の講和提議に就き帝國政府は最近の閣議に於て斷然之を拒絶するに決定せりと傳へらる(東京電報)

◎財經委員如何

來月中旬出發

新に設置さる可き財政經濟委員長には某上院議員親任さる可く又民間實業家より委員任命さる可し(東京電報)

◎總監首相訪問

山縣政務總監は十三日午前九時寺内首相を訪問したり(東京特電)

◎三宅博士通過

來鮮中の理學博士三宅驥一氏は十二日午後七時著列車にて來釜同八時三十分發關釜連絡船高麗丸にて歸東の途に就り(釜山特電)

◎幣原高師校長

廣島高等師範學校長幣原坦氏は十三日朝連絡船櫻丸にて釜山に著したるが氏は總督府の囑託により十三四兩日釜山十五日馬山十六日慶州十八日大邱の學事視察をなし夫れより入京の豫定なり(釜山特電)

◎總督天機奉伺

聖上皇后兩陛下には日光御用邸より御歸還相成りたるにより長谷川總督は宮内大臣並に皇后宮大夫を經て謹みて兩陛下の天機並に御機嫌を奉伺せり

◎陸地棉作豫想高

收穫豫想總額五千六百六十萬斤
昨年に比し八割六厘の增收見込

大正六年の陸地棉作は播種當時より旱天打ち續きたる爲め發芽遲延し既に發芽せるものゝ凋枯死する等旱害を蒙りたるもの尠からざりしも追播と六月中旬の降雨とに依り發芽揃ひとなり爾後天候順調となりし爲め作柄比較的良好なり、今九月一日の現況に徵するに其の收穫豫想高五千六百五十七萬八千三百六十斤にして之れを大正五年の實收高三千百三十三萬一千四百十四斤に比すれば二千五百二十四萬六千九百四十六斤、即ち八割六厘の增收なり、陸地棉收穫高累年比較並に大正六年地方別陸地棉收穫豫想高及び前年實收高との比較左の如し

陸地棉收穫高累年比較

年次	收穫高
大正元年	七、二一六、一二五斤
大正二年	一三、四四五、二八二斤
大正三年	一七、四七一、四五二斤
大正四年	二八、六六八、三七一斤
大正五年	三一、三三一、四一四斤
大正六年豫想	五六、五七八、三六〇斤

大正六年豫想高及前年實收高比較

道別	大正六年豫想高	大正五年收高	比較增
忠清北道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠清南道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全羅北道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全羅南道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶尚北道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶尚南道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
總計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎臨時研修會

總督府にては十三日午後四時より第二會議室に於て臨時研修會を開き入京中なる釋宗演老師を請じて講演を聽けり

◎總督邸午餐會

長谷川總督は十三日午後零時三十分より入京中なる黑板三浦兩博士をはじめ其の他各古蹟調査委員一同を官邸に招待午餐會を開けり

◎消防規則改正

大正四年總督府令第六十五號消防組規則中改正の件は十四日の官報を以て公布十月一日より施行の事となれり右は從來消防組に關する費用は府の區域に在りては府費其の他に在りては消防組設置區域内住民に於て負擔す可き規定なりしが今回發布の面制及び面制施行規則中面に於ける消防組の設置維持に關する事務は面に於て處理することに規定せられたるを以て此の規則と一致せしむるが爲め消防組規則第九條を改め消防組の費用は府又は面の負擔とせるもの也

◎管財人任命

京城地方法院管内に於ける破產管財人は從來三名にして孰れも大正三年六月二十六日附の任命に係り本年六月二十五日を以て其の任期滿了せるより其の後任として今回京城地方法院長の内申に依り高橋章之助、赤尾虎吉、木尾虎之助、星田正一郎の四氏九月十一日附を以て任命されたり、因に今回は定員に一名を增して四名となせしは京城の經濟狀態より見て增員の必要を感ぜるに因ると

◎日滿連帶取扱擴張

朝鮮鐵道を經由する滿鐵と内地鐵道院間の大貨物連帶取扱ひは從來院線の主要停車場に限られゐたるも日滿間貨物の發著漸く多く殊に滿鐵發豆粕大豆の如きは內地の小停車場にも之れを仕向くる場合少なからざるを以て來る十月一日より連帶取扱驛の大擴張を實行する事となり鐵道院全線(北海道總武德島の各線を除く)悉く取扱ふ事となりたるが貨主の利便少なからざるべし

◎京義線の二等寢臺車

十月一日より聯絡す

滿鐵京城管理局にて豫て製作中なりし一二等の合造寢臺車二輛竣成せりと最近京義線の二等乘客激增しつゝある其の寢臺希望者少なからざるを以て來る十月一日より從來一等寢臺のみ聯結せし京義線の夜行列車に二等寢臺車を聯結する事に略決定目下諸準備の進行を圖り居れりと

◎軍司令官西巡

松川駐箚軍司令官は南鮮巡視を終へて歸任後十八日龍山驛發列車にて西鮮方面巡視の途に就き廿三日歸任の豫定なるが其の日程左の如し

△九月十八日　午前九時二十分龍山驛發午後三時十分平壤驛著柳屋旅館投宿
△九月十九日　步兵第三十九旅團司令部、平壤衛戍病院步兵第七十七聯隊の巡視
△九月二十日　午前六時三十分平壤驛發午後三時三十五分新義州驛著直ちに新義州發自動車にて四時三十分頃義州著松葉旅館投宿
△九月二十一日　義州守備隊巡視午後二時頃義州發自動車にて三時頃新義州著綠屋旅館
△九月二十二日　新義州守備隊巡視
△九月二十三日　午前八時三十五分新義州發午後七時十九分龍山驛著歸任

因に隨行員は參謀一名副官一名なり

◎ゴルトン少將通過

天津駐屯軍司令官ゴルトン少將は十四日奉天驛發內地へ直行の豫定なり

◎伊太利參事官通過

駐日伊太利大使館參事官フエランテ氏は夫人同伴十二日夜南大門驛通過北京に向へり

◎神谷代議士入京

平安北道事務官にして現代議士たる神谷卓男氏は滿鮮視察の途次十二日夜入京巴城館に投宿したり在京三円人會は之を機とし十四日千代本に於て氏の歡迎會を開くべし

◎松本代議士入京

松本代議士は十三日朝釜山より入京せり

◎棚瀨代議士

代議士棚瀨軍之佐氏は十二日夜行列車にて釜山より大田を經湖南線に向へり

◎石炭運賃趨勢

現時石炭の市價暴騰甚しきが過は運賃高其主要なる原因にして不況時代に於ては運賃は一部供給者に於て負擔せしも現時の如き活況時代に際しては運賃は全部需要者に轉嫁せらるゝの奇現象を呈せり今若松大阪間の運賃を示さんに

▲平年　汽船運賃一噸に付五十錢乃至七十錢外に若松積入賃五十錢、大阪陸揚五十錢、計一圓五十錢乃至一圓七十錢▲帆船運賃一噸に付一圓三十錢

▲現今　汽船運賃一噸に付三圓五十錢乃至四圓外に積込陸揚一圓、計四圓五十錢乃至五圓▲帆船運賃一噸に付三圓四十錢(現今一時下落して二圓八十錢となれり)

にして猶參考のため標準運賃たる門司橫濱間の運賃騰貴の趨勢を示せば左の如し(大阪支局)

年月	圓	年月	圓
五年六月	二、〇〇	六年一月	四、五〇
七月	二、三〇	二月	五、二〇
八月	二、〇七	三月	六、三〇
九月	一、七八	四月	六、三〇
十月	二、五〇	五月	七、五〇
十一月	三、八〇	六月	八、〇〇
十二月	五、一〇	七月	七、〇〇乃至一〇、〇〇

◎教育團歡迎會

福岡縣教育家團の歡迎會は十二日午後七時より京城ホテルに開かれ當日來賓は一行四十一名主人側には立花師團長、城覆審法院長を始め在京福岡縣人有志約百名出席し晩餐の卓を圍んで鄉友相歡談し興酣なる時中村再造氏同團長の謝辭あり立花中將城法院長より有益なる談話あり十時過頗る盛會裡に散會せり

◎京畿地方費豫算

大正七年度京畿道管內に於ける地方費豫算は目下同廳各係に於て其々豫算編成材料調査計畫中に屬し而して同年度に於て新事業と目すべきは從來產業方面に屬せるもの多くが試驗的のものなりしを愈々五年計畫

□一寸永興まで(一)

京元線車中にて　李光洙

◇四五日じつとして居たら例の放浪性が又も動き出して居たゝまらなくなつた。恰かも二日許りの暇があつたので京元線見物にと出掛けた。何處へ行つて何を見ようと云ふ的もない。唯汽車の行く所まで行つて眼に入る丈の物を見れば好いのだ。所が咸鏡線の終點が永興と來て居るから便宜上永興行と自分も名づけ人にも話したまでのことだ。

◇九時半の列車に乘るべく南大門驛へ急いだ。京城は日に增し大きくなり立派になるのに何うして南大門驛は一寸も變ると云ふことを知らぬのだらう。何時か或西洋人の一行が龍山を南大門と間違へて降りようとしたのを見たことがある。成程龍山驛は立派だ。相も變らずバラック式ではあるが其でも南大門驛よりは數段上だ。若も南大門驛が龍山より手前にあつたなら初來の客等は乾度南大門驛を通り越して龍山に降りることだらう。併し建物許りづぼら大きくてがらんとして居るよりは小さな建物の中にごちや／＼して居た方が反つて景氣が好い樣で餘程賴もしい氣がする。

◇龍山驛は生意氣だ。用もないのに往くにも來るにも必ず五分位は止て行く。其れが朝鮮鐵道各線の咽喉を締めると云ふものだらう。併し漢江の鐵橋を渡つて或は孔德里の眞暗闇を通つて龍山の煌々たる電燈を見るのは如何にも氣持の好いものだ。

◇漢江には水量が殖ゑて麻浦西江邊りの人は餘程困るだらうけれども無責任な見物人に取りては餘程好い景氣だ。滿々と兩岸の柳を浸して波も立たず流れるとも見えぬ秋の水、其の中に浮いて流れる樣な平たい綠の島、既に暎れる山の影を踏み破つて悠々何處へともなしに泳いで行く白帆等中々乘てたものではない。

◇絶壁あり、隧道あり、漁村あり、漁船あり、首を南すれば洛々たる長江あり、北すれば蒼翠滴る南山の松林がある。日曜等暇の時に家族でも引き連れて南大門から清涼里邊まで行くのも面白からう

◇往十里は可哀想だ。彼丈けの戶數彼丈けの人口で若田舍だつたら大都會で御座ると威張りたらうに、京城の陰に隱れて一寒村を以つて自ら任じて居る。往十里驛だつて乘降りの客は少く京城水道に石炭を御屆けする役目を仰せつけられ構內は紛炭で眞黑になつて居る。

◎露貨換算率

日滿連絡貨物引換代金換算率中滿鐵京管線著の場合は從來三十五圓六十錢なりしも十二日以降當分三十一圓三十四錢に改定せり

◎平山釜中校長著任

新任釜山中學校長文學士平山正氏は十一日著任せり(釜山)

◎金本位採用案

支那政府は多年金貨本位を採用し其紊亂せる幣制を統一するの意ありしも唯だ之れが基本金を得る事容易ならざるを以て空しく拱手傍觀するの外なかりしが最近金貨の低落甚だしきより支那政府部內には此機に於て金貨本位を採り以て世界列強と畫一の幣制に革めんとの議盛んなり(北京)

◎沒收船貸下問題

獨墺兩國の沒收汽船は已に大達公司に貸與するに決定せるが如き風說あるも支那政府に於ては未だ決定せず目下其の料金等に就き研究中なれば船舶の噸數は毛噸、淨噸、貨噸の三種ありて其の差甚しく淨噸に依れば合計二萬三千百十二噸なるも貨噸にすれば四萬六千百三十三噸にして殆んど倍額に近く料金の標準は大體左の如き標準に從ふべし(北京)

一二千噸にして南洋の航海に堪へ得るものは毎噸一ヶ月三十元三千噸以上にして米國に航し得るものは毎月四十五元

◎浦鹽除外例

九月八日浦鹽より入港の平安丸乘客の談に依れば露國一般輸入禁止令は去月廿三日附法令集を以て發布せられ愈々九月十四日以降最後の港を積出したるものに對し適用する事となれるが浦鹽經由のものに對しては從來に内田大使の交涉に依り從來實施せられ居る烏港經由個人貨物禁止令に據り今回の新令の支配を受ざる事となり其旨烏港露國官憲に中央政府より電命する事を約したる趣烏港日本總領事館に著電ありたり然るに繼遞なる露國人の常として本月に入るも右除外令の電命未だ烏港官憲に到著せざりしを以て我領事館にては内田大使に打電至急電命交渉方依賴する所ありたるが本月七日に至り右除外令電命中央政府より烏港稅關に到著せり而して今回の輸入禁止は烏港經由の黑龍沿海州に使用の物資に限り烏港各務會議に依り從前通り輸入差支なき事となりたるなりと(浦潮)

◎奉天だより

▲四鄭線一部開通　支那政府は目下建設中の四鄭鐵道中建築列車を運轉し得る四平街八面城間の旅客取扱を開始せるが當分繼續すべし

▲中村都督來奉　中村都督は管内巡閲の途次八日午後五時十五分撫順より奉天に來著、文武官民及在鄉軍人小學校生從の出迎へを受け直に瀋陽館に入れるが九日午前九時旅館を出で軍隊檢閲及び忠魂碑參拜を了し正午督軍を訪問同公署に於ける午餐會に臨み歸途總領事館を視て三時過歸館したり十日は午前九時守備隊衞戍病院檢閲の後領事館の午餐會に臨み午後警務署憲兵分隊郵便局の廳舍により檢閲を遂げ奉天神社に參拜して一先歸館、六時より金城館に於て開催の官民歡迎會に臨みたるが十一日早朝奉天發本溪湖に向ふ

▲伊豫組と炭坑　撫順を距る西方七支里なる石門寨炭坑は現に支那人によりて採掘されつゝあるが奉天新市街伊豫組主八十一氏は炭界好況の折柄同坑の有望なるに著目し近く同坑を讓り受け規模を擴張し大々的に經營に著手する由

▲石炭需用增加　滿洲石炭消費量は年々增加を示し奉天のみにても例年十七八萬噸を要したるが本年は事業界の勃興と共に約五萬噸の增加を來すべき豫想なり其結果として撫順炭の需用又著しく增加すべく滿鐵會社にては出來る限り此の需用を充す方針を執るべしと

▲戰團加入反對　北京政府は戰團加入の可否に就き過般來各省の意見を求めつゝあるが奉天省當局者の間に於ては條件の有無利益の如何に拘はらず米國と同一態度を取り宣戰講和共に自由行動を執るべしと云ふに意見一致し近く之を中央政府に通牒する由(奉天)

◎朝鮮鑛業會發會式期

十二日夕刊一面「朝鮮鑛業會記事中其の發會式を十月三十日擧行」とありしは「九月三十日」の誤りに付訂正す

人事消息

▲村岡資七氏(憲兵中尉)十三日午前入京山本へ
▲宮塚貞一郎氏(七十九聯隊)十三日退京咸興任
▲岡村藤之助氏(咸興殖產鑛業株式會社支配人)十三日朝入京山本へ
▲太田亥十二氏(原合名會社員)十三日夜退京

彼れ此れ

○羅馬法王は、更らに第二回の提議を爲さんとすと。百回の提議も、何等の權威を示さゞるべし。然れども講和の聲は、野戰軍には禁物也。餓鬼の弛意、此の間に生ぜば、之れ獨探の跳梁に、好機會を與ふるの、虞あるが故なれば也。

○秋風淅瀝の夕、杜甫の「兵車行」を讀む。洵に獨逸の現狀に似ずや。正に是れ獨逸國民の、愁訴を聞くが如し。彼等をして、此の傷狀より去らしむるものは、唯獨帝の面縛、降を聯合軍の軍門に乞ふにあるのみ。

○早大の紛糾は、更らに大颶風と生じ、大旋風を捲起し、可燃性の學生、亦渦中に投じ、宛然露國の現狀に似たり。革命か、否か、吾等は其の如何を知らざるも、歷史多き早大の權威に關する處に非ずや。

○紅燈綠酒の影に、紋羅勇く興樂に、一夕萬金を投じて、得たる醜名ある今日。孤劍超然、豪宕の遊興を思ひ、半島に猛虎を狩らんとする、山本唯三郎君の擧や、壯絶、快絶たらずんば非ず。秋風起り、男子脾肉の嘆あり。聞くだに快心を覺ゆ。

歸家

結城琢

萬里歸來意氣豪。秋風滿地拂征袍。
深醉臥西廊月。殘夢猶飛故溯濤。

其二

白髮江湖一布衣。任從志業與時違。
秋風泣告先師墓。今我五游禹域歸。

にて講演を爲し十八日午前九時十分南大門發平壤に向ふ由

●維持員十二名 總辭職 早稻田大學又復大紛擾

早稻田大學にては學長問題解決の階光を見るに至りしにも拘はらず學生の一部は襲に革職せられたる敎授講師の一團の煽動により數百名の學生學校に押掛け徹夜に亙り現理事の辭任を迫りて止まず學校は爲に無政府狀態となり已むを得ず二十二日まで休校する事となりしが文部省は學校の自治を尊重して干涉せず默視し臨するのみにして何等の干涉をも加へざる狀態なり而して十二日朝新任理事及天野博士を除く十二名の維持員は總辭職をなしたるが十五日午前校評議員會を開催すべく夫れ／＼召電報を發したり（東京特電）

竹取物語（院展出品）　小林古徑筆

●南大門驛 新築されん 新營費明年の豫算に計上さる

現今の南大門驛が規模狹少にして其の旅客並に貨物の取扱上不便なるは勿論朝鮮

○首都の關門 として其の體裁より見るも大に振はざるものあり鐵道當局にては夙に其の新營計畫ありしも總督府財政の都合上未だ實現を見るに至らざるが京城市勢の發展は殷々乎たるものあり而して驛舍狹隘のため當局及び一般の受くる不便は益々大を致し今は一日を緩ふすれば一日だけ不便の度を增すに至りしを以て愈々總督府にては舊鐵道局時代に計畫せし案に基づき大正七年度豫算に

○鐵道新事業 の一として南大門驛新營費を計上したる由唯だ其の內容は未だ詳知し難きも聞く所によれば位置は現停車場を中心とし其の建築工費は約四五十萬圓とせしもの如く二箇年若くば三箇年の繼續事業となすべし又驛舍の規模は輪奐の美並に內部の造作等に頗る多額の經費を投ずるを避け及ぶ限り京城將來の發展膨脹を豫想し

○規模の廣大 を選みし模樣なり又鐵道の一部にては南大門驛を乘客貨物兩停車場に分離すべしとの意見ありし如きもコハ貨物停車場の位置選定豫想等より見て京城發著貨物主の不便不利を來す事多く並に建築費等の關係上分離せざる事に決定したる由

●釋宗演老師の總督訪問

十二日夜入京旭町鮮銀三島理事邸に投じたる釋宗演老師は十三日午前九時倭城臺總督官邸に於て長谷川總督に敬意を表し二條厚基氏後藤瑞巖師と共に大神宮に參拜し南山公園より市中一覽の上自動車を驅つて景福宮に至り谷井文學士の案內にて境內一巡休憩の上李王職美術品製作所を見物したり、猶ほ午後四時よりは總督府會議室に於ける講演會に臨みたり因に老師の京城出發は十七日午前九時十分なりしも一日延期朝鮮銀行

●我が守備隊出動す 支那官憲我が警官に暴行

十日朝鮮人八名朝鮮より琿春に密輸したること發覺し支那官憲に捕へられしより我が領事は其の引渡方を要求せしに支那官憲は之を肯せざるのみならず我が巡査に暴行して如何ともする能はず慶源守備隊に出動を乞ひたるため慶源の我守備軍より三十名及び憲兵若干十二日夜琿春に向け急行したり（會寧特電）

●第一期治道竣成祝賀會 十月七日漢江橋落成式當日漢江橋畔にて盛大に執行

總工費一千萬圓を以て明治四十三年より工事に著手したる第一期治道事業は豫定に先達つこと數旬既に全部の竣成を見たるを以て總督府にては漢江橋落成式當日卽ち十月七日漢江橋畔に於て記念祝賀會を開催の事に決し目下種々準備中なり

●琴平丸 船長以下無事

七月三十一日米國アラスカカリーシヤン群島沖にて擱坐せし琴平丸船長以下一同無事なりとの報告ありたり（大阪特電）

●釜山スミス飛行

釜山日報社主催スミス飛行會は十三日朝來快晴にて風なく會場は朝早くより觀衆押寄せ午前中入場者の外鮮人及び內地人老弱男女一萬以上附近の山上及び會場附近に集まれるが午後二時第一回の飛行を行ひ大喝采を博せるが午後四時更に第二回の飛行を行ふ筈なり（釜山特電）

●宗演老師講演

愛國婦人會朝鮮本部にては既記の如く入京中の釋宗演老師を請じ十四日午前九時半より南山本願寺に於て講演會を開く

●大野宗達師

釋宗演師に隨行支那視察の筈なりし前圓覺寺派宗務總長大野宗達師は宗務上の都合にて出發延期中なりしが十二日夜入港關釜連絡船景岐丸にて來釜同十一時發列車にて京城に向へり（釜山特電）

●海雲臺溫泉の設備

海雲臺溫泉にては同地と釜山方面連絡の爲め今回自動車一臺を增加する事となり高橋同溫泉支配人來京テーラ商會より八人乘自動車一臺を購入海雲臺に向け發送したるを以て近日中より二臺にて入浴客を運ぶ事となるべしと猶溫泉場電氣燈も十五日頃までには點燈の運びに至り來る十月初旬より新築の大浴場を開くべしと

●製腦工場燒失 損害十五萬圓

神戸鈴木商店腦の濱製腦工場西北隅より十二日午後出火研究所、工具製造所工場全部燒失したるが負傷者四名あり損害十五萬圓なりと（神戸電報）

●一縷の望み途絶えて 若き內地婦人鐵道自殺を遂ぐ

十五日早朝龍山驛より西方五六十間計りの鐵道線路上に若き內地婦人の轢死體橫はり居るを驛員が發見し龍山分隊より係員出張檢視せしが所持品其の他に依り全く

◆覺悟の自殺 を遂げしものと判明せり死者は茨城縣水戸市生れの岡見ひな（一九）と言ひ目下京城の某官吏の宅に女中奉公中のものにて本年六月頃全北より單身京城に來りしが其の頃より强度のヒステリーに罹り居り病勢昂進したる際は俄かに卒倒して人事不省に陷り人々を驚かしたること再三ありし由にて近回も興奮氣味なりしに三四回も

◆活動寫眞を 見物に行き其の都度歸宅して家人や知己等に對し『あの活動寫眞の女は全然妾と同樣の運命の者だ、私もあれのやうに死にたい／＼』と繰返すこと屢なりしより人々は其れとなく監視中なりしが十四日午後九時頃手紙を出して來ますと家人に告げて立ち出でたる儘行衞不明となりしより怪しみながら同人の室を檢べしに實母及雇主の

◆兩人に宛て たる二通の遺書あり其の中には世を悲觀したる末覺悟の自殺をなす旨認めあるより大に驚き直ちに八方に人を派して同女の行衞を搜索し漢江の鐵橋から身投げすれば樂に死ねやうなどの口吻を洩らしたることあるより漢江沿岸をも

◆隈なく搜索 せしも皆目不明なりしが十五日早朝前記の場所に於て轢死を遂げ居るを發見したる次第なりと尙同人がヒステリーに罹りたる原因とも言ふべき事情を聞くに十七歲の頃媒介者ありて目下全北裡里か全州あたりに居住中の山本某に嫁し昨年中男兒を分娩し無事生育中なるが

◆其の姑なる 婦人はひなに對し常に辛く當り散らし嫁を出さねば自分が家出するとて家人を困らせる爲め夫なる山本も母と嫁とは代へられず暫時別居すれば何れ機を見て同棲すべしとひなを宥めて一先づ別居することゝなり女は京城に來りたる由、女中奉公中も常に愛兒と夫の事を口にし再度相見る日を樂しみに待ちゐたる模樣なりしが兩三日前ひなの實兄より

◆復緣の見込 みなきを以て緣家先の戸籍も實家に復籍の手續きを濟ましたる旨の書狀到著したれば今迄一縷の望みを託したる緣の恢復は茲に斷絕されたるより俄かに世を悲觀し夫れに活動寫眞の刺戟を受けて愈々興奮して發狂氣味となり前記の始末に及びたるものゝ如しと

●橫領公金で遊興

廣島縣高田郡山田村生れの新川巧（二七）は咸南長津郵便局事務員として奉職中大正五年九月數名より受け入れたる預貯金通帳を僞造して三回に百三十八圓を騙取し長津料理店醉月の藝妓一駒（二〇）に入れ揚げたること發覺して長津分隊に檢擧され取調べの上檢事局へ送らる

●支那を觀て ▽木村增太郎氏談△ （三）

此のはなしは山口高商の支那貿易科主任たる木村氏の語るところを主として朝鮮に關係あるものを記してみた

次ぎに支那で著目すべきは世界に誇るべき鐵鑛の大富源である、日本ではこのごろ米國から鐵の輸入がとまつたので造船業者も工業家も大騷ぎをしてゐる、昨年一箇年中日本の鐵の需要は總額百卅五萬噸、猶ほ需要は年々非常に激增しつゝある、その中日本で自給し得る額は五六十萬噸、殘りの八十萬噸ばかりはみな外國に仰がねばならぬ、目下日本民間の鐵は枝光製鐵所の年額四十萬噸と民間の廿萬噸、締てザット六十萬噸である、然るに原料の鑛石は日本內地にあるかといふと今では殆んど見込みがない、幸ひその一部分は朝鮮から移入されつゝあるが殘りは何うしても支那の御厄介にならねばならぬ、日本內地に於ける鐵の埋藏量は農商務省の調査によれば約五千萬噸の推定である、それに何れも交通の不便な山中に在るので生產費が不廉くて算盤に合はぬやうである近頃米國の輸出禁止で盛に騷ぎ出したが今の値段が果して何時までつゞくか、日本の鐵鑛が算盤にのるのも永い間ではなからうと思ふ、日本將來の鐵鑛はぜひ共これを支那に求めなくてはならぬ、支那の鐵鑛山を見るに滿洲にもある（本溪湖、鞍山店の如き）山東省にもある（獨逸からとつた金嶺鎭鑛山）湖北の大冶鐵山、安徽省の鐵山（昨今東洋製鐵の手に入つたもの）等もその主なるものである、就中大冶の如きは視て來た人が何れも吃驚する程の大鐵山だが支那にはまだモツト大きな鐵山がある

それは彼の獨逸のリヒトホーヘンが調査したといふ、山西、河南兩省に亙る大鐵脈でこれには石炭の層も添うてゐるといふ、未だ根本的調査は出來てないが全世界の需要を二百年間滿すに足るといふことである、これは日本が支那に對して是非共利用せなければならぬことで『文明の源泉、製品の精髓』たる鐵を得ると然らざるとは日本の死活問題である近來支那人の中には鑛山を日本人の手に渡すのを厭ひ出した、米國あたりがとれば何とも云はぬが日本がとると新聞などが筆を揃へて反對の意見を示す、これに對し日本は如何にすべきか頗る考ふべきことである、對支問題については何時も政府の遣口を攻擊する者はあるが、それでは何うするかといふ意見を有つた者がない、國民の心すべきことである

讀者文藝

下句付『喰ひ潰す』

○喰ひ潰す程の意氣なし居候（一等）　大邱村　秋　穗　生

▲─男に縋ひ恩があり　龍山　高　園　子

▲─奴が讀んでる立志傳　義州　松　月

▲─奴案外斎藤にたけ　京城　芳　郎

●鬼頭氏令息

仁川鬼頭鉸二郎氏令息鉱藏氏（二六）は脚氣病の爲め十二日午後二時死去葬儀は十三日午後五時東本願寺に於て執行

●『氣の毒なる一家』へ

太平通石川彌三郎一家に對する其後の同情金品 ▲十圓也太平通町內中（朝刊既報）▲一圓及び衣類十一點南米倉町慶野氏 ▲金五十錢及び衣類六點無名氏

●石油爆發後報

去る八日の夜慶北[illegible]も四名の內同店雇人張龍浩（五）は九死に一生を得たるも[illegible]井（三）は[illegible]て幸に輕傷なりし爲め生命には別條なかるべしと（大邱）

宮永きよ、秋月きよ、東田ふみ、杉井ゆき、山崎良吉、林竹松、栗津隆、渡浦正次郎、染谷保藏、同くに、同保、同きよ、桐部良七、山崎虎三、岡村勝作、中村與[illegible]

[illegible]二百八十八名[illegible]十三日午後[illegible]入港[illegible]一二等客

【懸賞課題及募集規定】（文藝）

■募集規程 上川紙は端書又は同形の洋紙一枚每に紙上の雅號又は姓名の外に住所氏名明記の事▲[illegible]

天氣　晴れ　（九月十四日）（十三日午後六時迄）

商況

債券現物特電

（十三日出來値に）

銘柄	値
東洋拓殖	七六、〇〇
京城電氣	―
朝鮮銀行	―
朝鮮瓦斯	一七、九〇
南滿鐵道	一三一、〇〇

東京公債直取引特電

（十三日出來値）

銘柄	値
五分利特別	九五、七〇
四分利	八五、七〇
一回四分	八〇、七〇
二回四分	―
甲號五分	九五、七〇

深川在米特電

（十三日現在高）

種類	高
鮮米	一、九一二
新潟米	一四、二二七
內地米	九一、五二七

東京期米特電

十三日前場	十一月限	後場
寄付	二一、〇四	―
高値	二一、一九	―
安値	二一、〇四	―
止め	二一、一七	―

大阪株式

銘柄	拂込額	十三日前場	後場
宇治川水	五〇、〇〇	―	―
京阪電鐵	五〇、〇〇	―	―
東洋紡績	五〇、〇〇	一〇九、四〇	―
合同紡績	五〇、〇〇	八六、二〇	―
鐘淵紡績	五〇、〇〇	二四一、七〇	―
同上新株	一二、五〇	一三〇、〇〇	―
東洋精糖	五〇、〇〇	―	―
大阪商船	五〇、〇〇	―	―
日本郵船	五〇、〇〇	一二三、一〇	―
同上新株	五〇、〇〇	一二三、〇〇	―
堂島米穀	五〇、〇〇	二八四、八〇	―
東京株式	三七、五〇	二五七、八〇	―
東京新株	一二、五〇	―	―
大阪株式	五〇、〇〇	二四七、八〇	―
大阪新株	一二、五〇	―	―

大阪三品特電

十三日前場	前場	後場
九月限	二七八、四五	二六九、五〇
十月限	二七八、〇〇	二七五、一〇
十一月限	二七六、五〇	二七五、〇〇
十二月限	二七五、九五	二七一、九五
一月限	二七五、九五	二七二、〇〇
二月限	二七二、〇〇	二七二、四〇

大阪期米特電

十三日前場	値	後場
當限寄付	二〇、九九	―
中限寄付	二〇、九六	―
先限寄付	二〇、七九	―

メ止

下關期米特電

十三日前場　雨後氣迷ひ

	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	一九、六五
高値	[illegible]	[illegible]	一九、九五
安値	―	―	一九、七五
止め	―	―	一九、七五

雜報

●銀塊遂に五十片 十三日鮮銀へ飛電數銀塊相場は遂に五十片丁度に達したりと

●三品更に上伸（綿安）其他市況の惡勢に乘じて縮叩きし三品市場も値頃に於て漸く賣方の警戒を初めたると同時に一轉二十圓臺を底に跳返し來り今前場は各限七十圓臺に上り後小せき鞘にも手堅き成行を示せり綿布は三銘一三物九圓二十錢と漸直りを示せり

●更紙板紙値上げ 紫輸令內の各印刷用紙は後れ馳秋の商情にて市中値亦た區々たれど更紙及板紙は右例外に置かれたる事とて却つて堅調の成行を示しつゝありて市中値昨日各二十錢方騰貴せり即ち更紙は八圓三十錢より八圓五十錢、板紙は一噸八圓方騰りて百二十八圓の相手は百二十圓丁度となる

●土鹽の衰亡 土鹽は主として忠淸全羅沿岸に於ける煎熬鹽は比年衰退しつゝある上昨年の霖雨に加へ鹽田多く破損し一層其補積狹まりたれど今春以來の好天氣に意外の增收を得て昨夏以來日製鹽に連れ相當の高値に賣れ行けど燃料高の爲め製造は不引合にて一層衰亡の度を速めつゝあるものゝ如く本年產額は未だ明かならねど平年に比べて著しき減退になるべく其販路は依然南鮮及び中鮮の大部に亘れど此地方には割安なる官鹽の消費次第に增加しつゝあれば途によりて頗る美味なる特徵あれば開城邑其他從來の慣習を守れる地方にては依然需用盛んにして且つ又將來とも又た嗜好品として其地位を保つに止るべく從來之が改良製造を企てて石炭を使用せむと試みたるものも多けれど多く不引合に了りたる上今到りたれば現在の作業は矢張り沿岸に於ける半農半漁の鮮人の副業たるに止まり夫れさへ近來他に利益多き副業を得て轉業するもの多ければ衰亡の度を速むるものゝ如し

●哈市輸出靴旺盛 既報哈爾賓の皮革注文多きに次いで既製靴の輸出も益旺んとなし昨今續々輸出されつゝあるが之が市中製造額は現今百八十足內外にて更に最近監中の物を加ふれば不日二百五十足內外に達すべく大抵代金引換小包郵便にて送らるゝが先方よりは一割內外の內入手金を附けて注文するものあり其の市況活潑なるを思はしむるが最近調査哈爾賓に於ける日本品貿易額は五百四十萬圓中の靴代金は第二位を占め九十三萬圓なるを示す

●棒鐵の其後 鐵材は既に市況行當り模樣にて前報丸鐵及鐵板の下落後平角鐵類も之に連れて一割方の下落を見るに至り品薄と本國相場の依然高値を維持せる折柄又何時反撥あるや測り難きも過般人氣に投じて先走り居りし丈此邊或は値頃ならんかともいふ昨今の市中値段は丸鐵四分五分二十圓五十錢角鐵四分十九圓五分十八圓一分厚六分二十四圓五十錢二分厚六分二十二圓七分十九圓五十錢見當なり

●豆油暴騰す 豆油最近銀高影響を受けて相場暴騰せり當市中値は近頃迄一斤二十七錢五厘處なりしもの三十七錢五厘となれり當地に於ける本品の需要は從來支那人を主とし日鮮人の需要微々たるものなりしが近來他の植物油暴騰せし結果之等の代用として當地に於ける本品は從來支那人食料用としての需要大部分を占め居りしが近來他の植物油市價の暴騰に連れ日鮮人間にも漸次之が代用を促がしつゝありしに今回値上がりの結果は白絞油以上の高値となりし爲め更に需要の減退は免かれざるべし

●木炭更に硬化（木炭）既報の如く各產地の在荷不潤澤なるに支人荼人筋の見越買引續き盛んにして殊に某會社の買占め等と相俟つて益々市況の硬化を促がしつゝあり金剛地方にては最近各地よりの買物輻輳し同地相場は五十五錢より六十五錢に上り現品賣物殆ご皆無の由にて今度大豆の出廻り期に入らば輸送更に困難となり且つ內地よりの移入も少なく需要期を迎へたる際は或は昨年以上の高値を實現せんや計り難しといへり併しながら本年は案外多く思惑の行はれ居ると高値は又產出を增加する事となれば來る需要期には却つて反對の步調を辿るの恐れなしとせず

下關相場

▲朝鮮白米は先づ保合 既報の如く目下の相場は割高にあると內地米の如き漸次不勢の商情にある爲め買人の手控へ居る爲め兎角見るべき商內行はれずして市況面白からず然れども別段投げ物の賣り物も現はれざる爲め僅かに市況保合居れり而して之れが爲め小口の出來値は左の如し

▲大豆は矢張ら強 其後本山產百俵肥後產百二十俵淸州突り二百六叺等の廻著に過ぎざると產地高なる荷主氣張り居るも何分値頃が値頃なるより此上の商値は買進み兼ねたる風情ゆへ其後別に氣勢も昂らず之れが弗々の出來値は別項の通りなり

▲小豆は手堅し 本日も北海產三百九十六俵の輸入ありて依然小口の賣れ行に過ぎざるも昨紙既報の如き品薄の情勢の下に之が手持筋の賣り腰強きに依り其後市況は手堅し

▲肥料の現況 魚肥は前報後魚腸肥料三百九十叺の廻著に過ぎざるも今尙角不勢の商情にある折柄此上の高値は需用果して如何あらんとの氣構へを以て自然買氣の進まざる爲め其後見るべき商內行はれずして市況活氣なく[illegible]

△朝鮮一等白米　二十三圓十錢
△新義州大豆　十一圓二十錢
△義州交り大豆　十四圓九十錢

京城正米

相場は前日來持合ひの姿なるも賣物かスレに連れて人氣は益々强氣に傾きつゝあり此處當座の精米原料として地場精米筋は自然他地方に向つて買付を試みつゝあるも現下の米相場との採算上不引合ひの爲め商談運び居らず結局他の割安地方と引合ふ程度迄買上げざれば今後の廻米を見る事能はざるべし

南大門の廻穀

洪由白米	二三叺	平康大豆	二九叺
水原白米	二一叺	水原白米	四〇叺
鳥致院玄米	一七叺	開城白米	五四叺
一山白米	一三叺	鳥致院胡麻	七叺
鳥山白米	一六叺	開城粟	一〇三叺

釜山穀物（十二日）

▲正米（保合）本邦大阪定期米は小甘く先二十圓八十錢との報あり當市場買氣人は依然として精米口の必需補充買の外他口よりは更に手を染めず肝腎の精米口へは引續き白米の買付注文促し來らざれば一向目立ちたる買氣なく[illegible]玄米個に一千三百個の商販引ありたり

生魚市場

●釜山水產市場（十二日）荷漸に付て値は左の如し タイ仁川四〇、穌鰺三〇、サワラ二二、ヤズ一九、ハモ二二、クルマエビ九〇[illegible]

仁川期米

●十日前場（保合）大阪天候曇 兵庫前寄二十圓〇六錢大阪天前寄二十圓七十九錢と昨止同事の入電八十五錢より八十錢引先十七錢二十八錢と四錢安に寄付きたるも買物多く三十二錢と跳ねたるが戻りは又賣物多く大阪二節八十二錢三四節八十三錢と移りしも三十錢と押して依然保合の裡に散會

▲十三日前場 [illegible]

市場零聞

●依然保合 天候久々振りにて晴天となりたるが永々の霖雨揚句にて稍早涼を感じたり[illegible]市況は頭上の快晴に冷氣を覺へたるも稍賣物多く保合の裡に小鈍き成行を呈したり不知今後の變動如何あるべき

▲受米賣行說 昨紙既報せしが商關係に依れば賣方は漢南浦新井精米所にて買方は當地方武筋にて約四萬叺との事値段は秘密に附し居るも露國行白米の原料なるは無論存外高値ならんとの說あり今朝米受取米は新井のチヤツパンを附し停車場へ送り居るより見れば汽車積として南浦へ輸送する者と思はれる

▲强材料豊富 久敷保合を持續し居たる仁川期米の下げんとして押さず上げんとして昂らず更に展開する所なく[illegible]

▲期米目先觀 [illegible]

▲新規仲買人選 [illegible]

期米賣買 仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店 仁川海岸町

尙更氣迷ひ [illegible]

▲分 同店の賣三千餘石買三千餘石
▲⊖ 同店の賣三千餘石買三千餘石
[illegible]

仁川米豆取引所

十三日の十一月限

寄付	十七圓十九錢
高値	十七圓二十一錢
安値	十七圓十五錢
止め	十七圓二十錢
出來高	一萬四千八百石

平均値段

一節	十七圓二十錢
二節	十七圓二十錢
三節	十七圓二十錢
四節	十七圓二十一錢
五節	十七圓二十一錢

賣買取引高

九月限	四千五十石
十月限	七千一百五十石
十一月限	五萬五千六百五十石

十二日後場　前日と比較 [illegible]

白米標準値　二十二圓四十錢

小賣白米（現金賣）
△一等白米　二十三錢
△二等白米　二十二錢五厘

……發せる爲め同家族四名負傷せし事は既報の通りなるが負傷者は直ちに列車にて大邱に來り慈惠病院に入院せし……たるが獨り同家雇人玄命祚(三)は左肩に僅かの火傷を負ひたるばかりに

晝の中の九味浦の濱

天然の美に憧れ天然の生活を愛する歐米人の呑氣な避暑生活

♣彼等歐米人は自然に對しては殆んど仇氣ない小兒の如く天眞爛漫であるが避暑生活の如き放逸粗暴に流れ易い生活を營んで居ても團體に對する自治の觀念は非常に嚴格なものである例へば避暑客の裡から適當な人を選んで醫者であれば衛生を擔當し實業家であれば

▲海水浴場の時間を制し或者は商業組合を管理し或者は何と言ふ風に分擔して各自が秩序を紊さずきちやんと責任を遂行して居る殊に衛生は極めて嚴重で如何なる場所に行つても唾は必らず啖壺に吐く事にして居る程であるから附近一帶の清潔さは感じが宜くビュジネスソサイチーでは各自が出費して氷を貯藏して置いたり遙か一里許り

♣奥の松川里から牛車で運んで來る水を切符で販賣したりして土地の住民から暴利を食られぬ樣な組織にしてある斯樣に總てが組織立てられて有るので娯樂の如きも多くの人が集つて總ての人が共に樂しむ事が多く此れ丈けは僻み根性が强く

▼孤獨的生活を好む、社交的な日本人などには眞似られぬ處であらうと思ふ日曜になると寄草の離々たる所に天幕を張つて教會を作り其處で朝は日曜學校十時半から小供其他下婢の爲に説教があり午後四時半から大人の集りがあつて禮拜を終へた後は二部合唱があつたりスミスさんや其他の人々の

♣御自慢の獨唱がある此の日は安息日とて海水浴はせぬ事になつてゐるそれから婦人連の優しい心から鑛山や田舍に勸めてゐる孤獨の人の爲めに慰安會が催されたり踊る者の爲めには盛大な送別會を催したりする恰度僕等が踊つて來る時同行者が十數人あつたが其等の人の爲め

▼出發の前夜九時頃野の中で送別會を催したが定刻になると何れもテーブル腰掛を各自持參で參會した秋天玲瓏一片の雲の無い夜は星の雫が滴り相で草葉にすだく虫の音もルルルと鳴く蛙の聲も微妙自然の興を添へて初秋の夜は只でさへ樂しいのに青草に映ゆるランプの周圍で婦人達がダンスをしたり

♣男女交つて椅子取りをしたり合唱をしたりするので夜の更くるも知らず時の限りを盡して散會した斯樣に彼等歐米人は團體的生活に於ても自然生活に於ても高尚な趣味性を有つて居て互ひに娯しむ事に

▼巧みであるから彼等の多くは永い時日を要して故郷に歸省する必要もなく九味浦の濱にさへ來れば自然の美に親しみ解放された生活を營み充分に慰樂を得乍ら數箇月を送り得ると言つて居るが實際さうであらうと思はれる目下

♣九味浦の濱に 避暑して居る者は餘り多くは無いがそれでも二三十名はあるだらう來年は更らに設備を増し次第に避暑客も増加するであらうが只交通が不便であると言ふ事は吾々として非常に氣の毒に感ずる事であるが今の處では如何ともし難いであらう(終)(仁川海事出張所伊藤治七氏談)

◉釜山の貫務老師

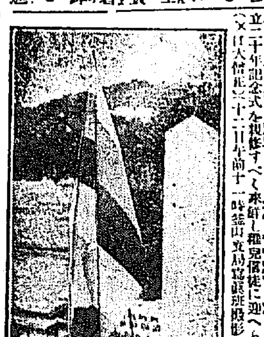
近く九州巡錫の途に就かん

東京芝増上寺貫主大僧正堀尾貫務老師は隨行長中野敎運、代説岩井智海、事務員神林周道、内役阿川貫住、坂田良弘諸氏の隨行員を從へ釜山大廳町浄土宗智恩寺創立二十年記念五重會を親修すべく十二日朝入港關釜連絡船高麗丸にて來釜せし事は既報の如くなるが同老師は本年九十歲の老齡に達したるも猶耳目健在にして曩に浄土宗大本山増上寺は火災に罹り灰燼に歸したるを再建すべく全國に淨財を求めたるも未だ豫定の額を得る能はざるを慨し兩三年來寒暑を厭はず每早朝より東京市内に託鉢を爲し遂に昨年よりは全國に渉りて託鉢淨財を蒐む可く今回九州に巡錫の途に來釜せしに十二日著釜直に智恩寺に於いて創立二十年紀念式を親修し終つて智恩寺創立の功勞者たる現大邱駐在布敎師三隅田持門師に功勞を表彰す可き親書を授與し十二時式を終りたるが同老師は十三日より十九日迄一週間同寺に於て每朝七時より五重會を修し正午まで親敎を爲し廿日より東萊温泉に赴き入浴休養を爲し廿三日歸釜同夜出港の關釜連絡船にて門司に赴き愈々九州巡錫の途に就く筈なりと(釜山)

◉此頃の鯛は卅圓

漁夫は海に殆ど出ない

觀測所の山上には暴風警報第一種信號の赤球が烈風に吹かれてフラ〳〵して居る空には壓へつける樣な雲が跳躍つて雨が瀟々と降り續けて居る樹の枝は物凄く呻つて居る世界は今絶滅の瞬間に近づいて來た。とでも言ひたい樣な天氣模樣が久しく續いたので漁夫は棲み慣れた海を惡魔の棲家の樣に怖れて一向に沖出をしない其結果仁川の魚市場の如きは鯛やニベの漁期に入り乍ら魚が拂底して昨今鯛は十尾三十圓と言ふ箆棒な高値を出しスヽキの如きすら日に依つて十五六圓の立値は珍らしくない然も釜山統營の方面も又不漁と見えて一向に入荷がないから魚市場は寂然閑として獨り魚の異臭のみがフンプンと鼻を衝いてゐる(仁川)



◇堀尾大僧正來錫 増上寺貫主堀尾大僧正は當年九十の高齡を提げて釜山智恩寺創立二十年記念式を親修すべく來錫し稚兒信徒に迎へられ大廳町浄土宗智恩寺山門に入らんとす(又は大僧正は十二日午前十一時釜山支局寫眞班撮影)

◉京城でも虎疫警戒

急行列車に警官を乘込ませる

内地では富山縣を初め方々に虎疫蔓延の兆があるので朝鮮でも油斷が出來ない先づ關門の釜山では連絡船や汽車に警察を特派して警戒させてゐるが關係筋の京城でも愈々

▲警戒の方法を 講ずるに至り本町警察署では這回左の如く施行することにした内地の虎疫指定地を發し又は經由して來た者(流行地に下車せず汽車で只通過した者は除く)の内病毒感染の疑ひのある者は先づ龍山署で停留させ其の他の者は行先地で健康診斷をすることゝし九月十四日から京城龍山間では急行列車に警官を乘り込ませて警戒すること、なつた流行地から京城に入るものに對しては

▲南大門驛で採便 して檢査に附し採便後も本人及び同居者の健康狀態を流行地出發又は經由の時刻から滿五日間視察して其の結果を悉く報告することゝなし尚列車に乘り組みを命ぜられた警官は大田驛に先著して釜山からの乘込み警官の引續ぎを受け關係者に注意しつつ京城に歸るものとし、途中萬一吐瀉患者を出した場合は最寄の警察署に電報して其の患者を下車させることゝした右列車内の事故は列車主任者と連絡を取つて處分する事となつた

◉電話の不平

交換手は低能兒粗忽屋 親の心になつたら情無い 不便を忍んで勞つて呉れ

怒鳴る事の特權を持つた加入者にして見れば五分間も信號して交換手が出なかつたり「お話中」な返事されたら大抵癇癪玉が破裂するだらうがそんな時は

◆自分で走つて行つて用事を濟ますのが早手廻しだ耳はあつても口はあつても元來神經の通つて居らぬ俺の事だ幾程小言を言つたつて一旦調子を狂はしたら一向に感じがないから其邊は鏡と御承知が願ひたい其れから番號の呼び違へで能く交換手が低能兒になつたり粗忽屋にされたりするが斯うせ機械の俺にさへ故障が起るんだもの

◆人間の聰神經に多少の狂ひが生ずるのは當然殊に况んや營養不良の聰神經に於てをや殊に况んや八百六百七と一四十と二十番と御飯なぞと言ふ類似の發音があるに於てをや、稍違ひから人間が聾になつたり低能兒になつたら世の中は疾の昔に電話も無く悧巧者も無くて濟だらう

◆それも言ひ違へたり發音が間違つた加入者は口も出さずに間違つた交換手許りが聾にされて了ふんだから遣切れぬ、親が聞いて居たら嘸かし口措がる事だらうと俺は本當に交換手が可哀想になる次に一寸注意したいのは終話表示が落ちた時は電話を切るが屆んな時往々加入者から話中なせ切つたと怒鳴りつけるが交換手の方では一二度話中であるか否かを確めて切るのだから此の場合は大抵使用者の方に過失がある、曰く何時間信號しても返事をせぬ曰く話中に何故切つた曰く番號が違つたなぜ、言ふ小言は應接に遑ない程であるが其の過失は俺と交換手と使用者が共に責を負はねばならぬ

◆然るに交換手のみ怒鳴る標的となつて日々夜々罵詈と嘲笑の標的となつては人生交換手になる勿れと言つて遣りたい程である、俺の處の局長さんは取引所や會議所や新聞社や其外誰れでも電話の交換狀態を觀て貰ひたいと口癖の樣に言つてるが實際參觀す

◆るが宜からうそして俺の毫礙して居る處や聞勘なくハア〳〵と返事をし乍ら緩和に手を動かして居る此の可憐の樣を見たら仁川の電話がこんなであるかと解ると言ふ者さへあるかと思ふそしたら電話の不便は忍んでも俺達を勞はつて呉れる樣な心になるだらう(終り)

◎兩券溫習會番組

菊花會(中券)乙女會(京城券)聯合の溫習會はいよ〳〵來る十五、十六の兩日浪花座に於いて開催すべくその番組は左の如く決定せり

△初日乙女會 長唄素囃子操三番叟△淸元梅の春△長唄素囃子故鄕の花△淸文節四季三番叟△長唄秋の色種△常盤津踊獅子(中券)△長唄素囃子新石橋△長唄踊り越後獅子(中券)△二日目菊花會 長唄素囃子操三番叟△長唄越後獅子△長唄素囃子五郎時宗△常盤津踊乘合船△長唄素囃子四季の山姥△長唄踊二人道成寺△長唄素囃子外記石橋△惣踊

◎尺八追膳會 京城琴古流尺八研究會にては會員たりし故松岡信眞氏一週忌追善供養のため來る十五日(土曜)午後七時より曹洞宗大本山別院に於て執行し、會主家村青鳳氏の本曲、外會員一同十數回(三曲合奏)の吹奏ある筈

◎慈善音樂會の寄附 去る四日京城長谷川町日本基督教會婦人會慈善音樂會より收入純益金中より金十圓を三國通信社京城支部に寄附せりと

浦の砂

■大神宮の渡御 伊勢河藝郡一身田町海岸に蜃氣樓が現はれた、これを地方人は天照皇大神宮樣が熱田神宮へ渡御されるので晝は城のやうに夜は提灯のやうな根なしの火が見ゆると稱してゐる

■剛氣な豫備兵 山形縣東置賜郡豫備海軍一等水兵石田竹次郎は病氣の爲に簡閲點呼を免れてよいと甘ふ明文があるのを知つてゐるが軍人として點呼に缺席するのは面目なしと押して點呼場に赴く途中歩行が出來なくなり車に助けられて出ると間もなく絶命したので係官初め一同同人の熱心に感じ入つた

■看護婦の自殺 筑前八幡市尾倉立町一丁目看護婦同こと(二四)は相思の間柄となつてゐる巡査に添はれぬとて六日朝劇藥自殺を遂げた

■表彰された盲人 福岡市外八幡村財部明順は幼時天然痘で失明したが懸命に稼いで老父母に孝養を怠らなかつたので村會で表彰することに決議された

■恐ろしい女房 宮崎縣北諸縣郡高崎村岩崎將内の妻内谷はき(二五)は夫婦喧嘩をし夫の寢入た後め上げて一時絶息せしめたことがあつたが頃日明番兵衛(六五)の頭を叩き割つて罰金五十圓の處分を受けた

■悲慘なる一家 函館仲町北野鐵太郎内縁の妻宮本きよ(二五)は四月生れの男の兒が間もなく死亡したのでヒステリーに罹り實父善平は初孫の屍體を抱いて發狂して是又死亡したので夫の出稼ぎ不在中きよは投身自殺を遂げた

京城本町 壽館 電話一〇五〇
浪界の女王吉田小奈良一行 ▼當る九月十二日(五日目)前日の續き △中江藤樹(吉田文子)△飛行青年(吉田榮丸)△貞女お律(吉田照子)△文七元結(吉田奈良榮)△孝子安吉(吉田奈良千代)△佐久良の階段(吉田小奈良)愈今晩にて千秋樂 水戸黄門記(京山芳邊)△矢頭衛門七眞心 兵衛渡し場

櫻井町 大正館 電話八七三
日本活動寫眞株式會社特約代理店 九月七日より特別大興行 三都に率先し封切公開 ○喜劇 少さな曲藝師 ○滑稽 慌てた亭主 △斯界の名優尾上松之助一派出演 ○舊劇 振袖三平 全四卷 高松の城主松平家の忠臣岩瀬内記同僚木下武源太の爲め家族共に殺され忠僕三平若殿を擁して仇敵と尉たんと千辛萬苦時至て本懐を達すると云ふ日活會社新派悲劇 ○米國バテー支店特作品 △米國バテー米國支店特作品 ○奇々怪々なる探偵劇第二『レッドサークル』全廿八卷の内第三、四編四卷 トラズイス孃はホルトマーレーを恐へ見之れは乳母の二十年前の物語りにより虎男に扮して偵の着眼點となれる孃は乳母の物語りにより…を發見する ○事實譚『中將の娘』改題『二人少尉』全四卷 語り物の身上如何に八月一日より廿日間に亘り連載…

京城新町 黃金館 電話二六三七 三三六六 天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
△九月八日より全部差替提供大寫眞 ○新派琵琶劇『岩淸水』最長尺 ○久振にて大新派太郎五味國太郎一派の歌訓悲劇兒島旭洲の五十嵐と相伴つてお迎へ致らせます △米國バテー會社大傑作世界三大寫眞の一水らく京城の天地に大好評を博せし ○旣?人?連續大活劇護る影 終篇六卷 消え失せた二人の姿はどうなつたらう疑問のセリーカーソンの冒險が本篇に依て現はれ ヤッド肩の荷を下すの時期か到着しました ▲天活會社の自慢すべき寫眞來る ○舊劇『不動金剛丸』全四卷 幼名金之助が父の仇を報ぜんと武道を勵み不動明王を信じて不思議な技術を授かり途に不動金剛丸と名乘つて天晴れ本懐を遂げると云ふ非快なる寫眞は日本に於て未だ撮影振り一段は是非御覽あれ △映畫は毎夜七時半 新劇 ▲入場料値上げせず從來發行の招待券お斷り

大毎連載 中將の娘 初日以來連日滿員に付十四日迄日延べ 大阪每日新聞讀者割引券は十四日も通用可致候間御見落しなく御早來願上候 ◎大正館

可演藝案内 有樂館 東京小林商會活動寫眞一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話(階上)五九七番(階下)二〇五番 ▲日曜、祭日 晝夜二回開館 ▲御觀覽用回數券發賣 ▲九月十四日より公開寫眞 長尺午後六時半より開演 △實寫 ユニヴァーサル週報第五十一號 青山説明 △米國ユニヴァーサル社作 滑稽『大決心』久世説明 △同エルコー社作 ◎滑稽『孝主の奇計』久世説明 △同國ビッツュー社最近の大作 大活劇『救ひの叫び』全二卷(松井説明)舞臺は北米ロスアンゼルス市より黒國蛟アリゾナ洲の鑛山迄此間壯十數百哩出來事は惡工夫の横暴より善青年ハロルド氏が懸命の苦心、義惡工夫の大爭鬪より列車進行中の大活劇等觀客をして肉躍らん ◎同國レッドフィーザー社作 社會劇『憎惡』全五卷(久世、南郷説明)マイラは嫉妬に惱死す樣マリアン大にセラドを恨む、セラドは溺死の女優マリアンは如何なる手段に依り文の復讐をするか其間波瀾は其極に達す的 ◎舊劇怪談『數島物語』全四卷 市川海老十郎、中村梅十郎、中村梅代三郎、市川介十郎、市川市男出演 ○浮世を他所の吉原に全盛太夫の北州の中に遊女數島には類なく人も羨む程の身の因果に來は怪談の主人公とは哀れと云もなかなか也 ◎大倉桃郎氏作新派連鎖劇『琵琶歌』全三卷(中野信近、木下八百子一派出演)御存知の特別部落の荒井三造が妹里野の嫁ぎ先武田の兩親が邪心から波風起りし一節は大倉桃郎の筆とは

わきが 治療 好期 全快 實驗 ●長年の經驗●森田研究所の新發明●東京●直營●郵券二錢添へ申込あれ 新刊療法解説書全部實驗集無代呈す

何れの家庭にも常備の救急藥 赤十字印 安川コロダイン ○効能 ○腹痛 ○胃痛 ○食傷 ○吐瀉 ○氣付 ○精神疲勞 ○咳嗽 ○日射病 ○暑中 ○惡心 ○船暈 ○酒醉 ○諸君は常に小量づゝ服用すれば精神爽快になり氣力を増進す ○本品は全國の藥店にあり御求の節は赤十字の商標を御認め下さい ○定價 十錢 二十錢 卅錢 一圓 東京市日本橋區上槇町 本舖 安川見榮堂本店 振替東京二四九一一 電話本局五一六〇

効力非凡なるは一般に定評あり

旅行用 靴と鞄 東洋一流行の魁 堅牢優美 價格一割安 保證す 内田式ストロンタ靴は ◎定價表郵券二錢 東京市芝區櫻田伏見町角 内田靴鞄問屋 電話 …

米 期 大阪堂島米穀取引所仲買人 (株)曾我商店

月經 流經新藥レスタリン 閉止四五ヶ月以内に於ける本品の流經作用は確實にして容易く應用の目的を遂し其効果他系に優越す 藥價一瓶金壹圓十錢 送料内地十二錢 海外卅錢 切手一割增 郵券三錢切手添申越進呈 振替大阪三〇一四番 大阪北區曾根崎上一丁目三六地 發行所 常盤藥院

京城西小門町二一番地(舊醫院跡) 田中丸病院 院長 醫學士 田中丸治平 副院長 醫師 上野和夫 電話八八五番 (入院隨意) 普通病室隔離病室の設備あり

皮革 精米研磨革 綴革 動力帶革 靴原料 青象本底 釜山大廳町一丁目 三星商會 電話長七八〇番 ▼精米研磨革及青象本底は他に比なき最良品なり▲

◎スミス來る!!!

鳥人スミス母子一行は十一日夜釜山に上陸せり十四日入京十五日午後二回龍山練兵場にて飛行す
◉入場券は一、二、三等の外新たに等外を設けて三十錢を發賣す 四に對しては市内何れの發賣所にて求められ入場券購入者に進呈す 五 所定の煙草を發賣す
◉市内の煙草景品は十四日午後五時限りとし當日特に會場入口にて發賣す但し割引及び景品無し
◉當日の入場者は各等共早いが勝ちなり遲參者は自然好座席を得る能はざれば
◉飛行は當日黎明より數百發の煙花を打揚げて開會の合圖とす
◉を機會は重ねて來らず空中王の袂別飛行を見損じて後に悔ゆる勿れ

謹啓

此度乙女會(京城券番)菊花會(中券番)と申す技藝練習機關を作りまして東都より斯道の大家を師匠として招き練習中のところ愈々來る十五日十六日兩日午後五時から壽座に於て合同演藝大會を催ふす事に致しました果して皆さんのお嗜好に投じ拍手喝采を得る事が出來ませうか、未熟の技藝到底覺束なき事と思ひますが然しやがて皆々樣の御嗜好を充たし得るの日の來る事があらうと信じて居りますを迎ふる日の來る事があらうと信じて手急發す今回は初見得として特別の御最負を以て賑々敷く御來觀の榮を賜ひ御高評を下されんことを切に御願申します

大正六年九月十三日
中券番
京城券番

又々發賣禁止

全部再印刷配達す

十一日附我大阪朝日新聞は其筋より發賣頒布を禁止せられたる處又々十二日附新聞も同樣の災厄を蒙り候依て定刻配達不能に終り候段讀者各位に對し恐縮に不堪候然し右兩日分は再印制の上既に本社より再送致候間十四日定刻に全部配達爲致候條不惡御了承被成下度此段奉急告候
終りに臨み我在鮮十萬讀者の御健在を祈る

大正六年九月十三日
京城南大門通二丁目
大阪朝日新聞通信部
電話 三九七番

左甚五郎

第二十六席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

大工棟梁政右衛門は甚五郎が美事接木をして見せると受合つたが、猶不安に思ひまして 政『甚五郎何ういふ工合に運ぶのだ 甚『何にも長い間じやアなし、それに公方樣は來て一日見て居る譯じやアありますめへ、チヨイと來てチヨイと見てお歸りになる、其の位の間なら美事俺が接木をして上げる、早い方が宜いお庭係りに一ッ話をなすつて御覽なせへ 政『巧くゆくか 甚『大丈夫で 政『それでは一ッ話をして見やう』と急いで勘左衛門の處へ來て 政『エー太田樣ね 勘『何だ 政『私が伴れて參つた仕手方の中に甚五郎といふ男がございます、最も此人は不思議な細工をする男なので、今の話をいたしましたら接木をしやうと云ふ云ので、決して鈍な細工はしない花が咲て居るやうに拵ると云のでございますが何うでございませう 勘『ウム成程、話のやうに巧くゆけばそれに越した結構なことはないが、兎に角其の者を呼んで貰いたい、篤と拙者より話をして見やう 政『宜しうございます』とそれから直に甚五郎を其處へ伴れて參りました 勘『只今政右衛門から承はつたが、上樣が御覽になつて接木と御氣の付かないやうに出來るかな 甚『それは大丈夫でございます、何誰が見たつて是は接いだのだと判るやうじやア接木じやアございません、元の通りチヤンと咲いて居るやうに拵へませう 勘『それでは何うか何分一つ遣つて見て貰ひたい、少しも早いが宜い 甚『宜しうございます、それでは此の櫻の周圍へ幕をお張りなすつておくんなさいまし 勘『宜し〳〵』と直ぐ幕を張り廻して 甚『手桶へ水を一ぱい汲んで來て下さい 勘『委細心得た』鋸に鐵槌鑿を持つて幕の内へ入つて 甚『旦那、貴下は此の折れた枝を確り持つて居ておくんなさい 勘『宜し〳〵』勘左衛門枝を確り押へて居りまするを鋸を執つて甚五郎ゴリ〳〵〳〵伐始めた、勘左衛門は驚いて 勘『コレ〳〵そんなことをして宜いか 甚『宜うございます、決して御心配には及びません 勘『大變なことをしてしまつた、折れたので澤山な處へ鋸で引伐つてしまつた、殊によると是は俺が腹を切る兆ではないか』と心中穏かならず青くなつて居りますと聽て切てしまつた枝を手桶の中へ入れまして水を吸はし、幹へ鑿でコツリ〳〵と穴を穿ちまして 甚『さア太田樣其の枝を此方へ持つて來ておくんなさい、確り押へて居て宜うがすから』とかの穴へ折れた枝をスパリと差込む、ピタリと幹へ合ひました 甚『さア旦那御覽なさい、花が一ッも首を低げちやア居りません、何の枝を見比べたつて違ひはございますまい、人が捉つてブラ下つても此の枝が取れる氣遣ひはございません 勘『成程』と目を皿の樣にして見ると此處で接だと自分が知つて居るから判るやうなもの、チヨツと見ますと何處で接たか其の接目が判らない、大に喜んだ太田勘左衛門 勘『イヤどうも大きに御苦勞であつた、是なれば無事に相濟み拙者も腹を切らずに濟む、女中共も何事もなく相濟むであらう、後で禮をいたす引取つて休息をしてくれる樣、イヤ何うも大骨折であつた 洵に千萬忝い』と頭を下げて禮を述べます 暫く經つて三代將軍家光公御近臣をお從へなつて、大久保彦左衛門が先に御庭へ御成りになりました、兼て設けてございます御茶室へ御休みになり、是より右の八重櫻を御覽に相成りましたが悉くのお喜び御近臣に對ひ 將軍『大火の中に御祖父樣が御手植の八重櫻火災を免れ斯くの如く美事に咲くと申すは天下泰平の瑞祥洵に芽出度ことである、あゝ美事に宜う咲いて居る』頻りにお賞めに相成りました。

新築落成
京城明治町一丁目
入院随意 胃腸病院
電話一六五九番
院主 佐々木杏造

九月十五日九星
舊七月廿九日 庚申 本命一白 北 建 大安

てんかん
病で時々困難の方切手二錢送れ永年の病も自宅でヒミツになをす事の詳しい本を無代進呈す
名古屋市中區南小川町 救生館

周易 介石堂
明治町二丁目 岡村介石

ルーデサック 特製品
A十個四十錢B十個六十錢 形一個
廿五錢女用一個八十錢 ▲月經帶一個
七十五錢廿個以上一割引 郵券代用一割増
要送料 金振替京城三二七番
京城 山田文殊堂藥房

りん病 ばい毒
本藥は殺菌力強大にして從來の作用なく急性慢性淋病及び各期梅毒性諸疾患に服用し最も安全迅速に治療の目的を達す
一週分 梅毒 特製金壹圓二十錢 普通金貳圓
淋病 特製金貳圓 普通金壹圓五拾錢
京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會 滿鮮本部

京城學校組合告示第八號
大正五年度京城學校組合歳入出決算組合會ノ認定ヲ經タリ其ノ要領左ノ如シ
大正六年九月十三日
朝鮮總督府府尹 金谷充

歳入 經常部
第一款 組合費 金拾五萬五百七拾七圓九拾四錢
第一項 戸別割 金拾五萬五百七拾七圓九拾四錢
第二款 使用料及手數料 金五萬貳千百參拾六圓七拾八錢
第一項 學校授業料 金四萬八千八百貳拾參圓四拾錢
第二項 幼稚園保育料 金千貳百[illegible]
第三項 督促手數料 金貳千八拾[illegible]
第三款 財産ヨリ生スル收入 金壹[illegible]
第一項 基本財産收入 金七百八[illegible]
第二項 貸地料 金壹萬千參百八[illegible]
第三項 貸家料 金六百八[illegible]
第四款 雜收入 [illegible]
第一項 運用金利子 金五百拾八[illegible]
第二項 物品賣却代 金七拾七圓
第三項 滯納處分費 [illegible]
第四項 雜入 金拾參圓[illegible]
第五款 繰越金 金貳萬六千七百拾[illegible]
臨時部
第一款 繰越金 [illegible]
第二款 前年度繰越金 [illegible]
第三款 國庫補助金 金參萬貳百四拾[illegible]
第四款 寄附金 金貳萬六[illegible]
第一項 指定寄附金 [illegible]
第二項 基本財産指定寄附金 金貳千參百六拾[illegible]
計 [illegible]
歳入合計 金貳拾七萬八千六百八拾五圓五拾壹錢五厘

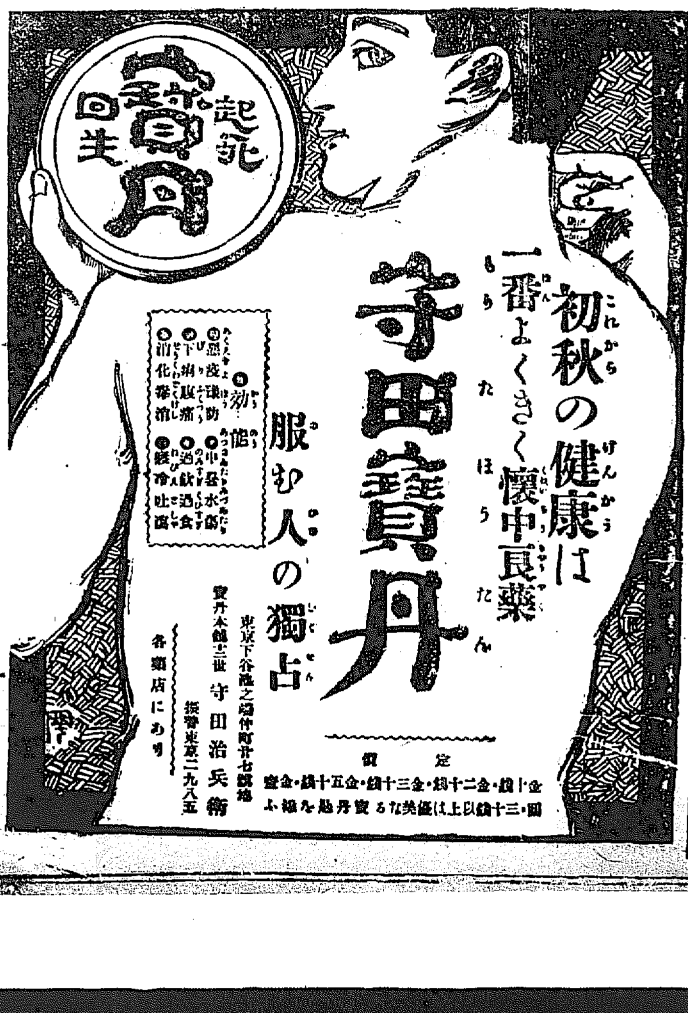
歳出 經常部
第一款 事務所費 金壹萬參千八百九圓貳錢
第一項 給料 金七千五百參拾五圓六拾錢
第二項 旅費 金貳百貳拾參圓八拾五錢
第三項 宿舎料 金九百八拾參圓參錢
第四項 備入料 金六百五拾五圓七拾九錢
第五項 雜給 金千參百五拾參圓拾壹錢
第六項 需用費 金貳千貳百參拾五圓貳拾八錢
第七項 金庫諸費 金五百六拾貳圓五拾貳錢
第八項 雜費 金貳百五拾九圓八拾四錢
第二款 會議費 金貳百九拾五圓四拾八錢
第一項 費用辨償 金貳百拾貳圓
第二項 需用費 金八拾參圓四拾八錢
第三款 小學校費 金拾壹萬五千九百拾七圓八拾八錢
第一項 給料 金六萬九千六百八拾八圓拾八錢
第二項 旅費 金千百五拾七圓五錢
第三項 宿舎料 金壹萬四千參百[illegible]
第四項 雜給 金壹萬貳千七百[illegible]
第五項 需用費 金壹萬千五百參[illegible]
第六項 雜費 金四千九百七拾[illegible]
第七項 修繕費 金千五百五拾參[illegible]
第四款 高等女學校費 金參萬九百[illegible]
第一項 給料 金壹萬八千九百五拾五圓拾六錢
第二項 旅費 金四百五拾六圓壹錢
第三項 宿舎料 金參千百七拾壹圓貳拾四錢
第四項 雜給 金四千貳拾貳圓[illegible]
第五項 需用費 金參千百八拾九圓四拾錢
第六項 修繕費 [illegible]
第五款 幼稚園費 [illegible]
第一項 給料 [illegible]
第二項 旅費 [illegible]
第三項 宿舎料 [illegible]
第四項 雜給 [illegible]
第五項 需用費 [illegible]
第六款 修繕費 金四百八拾七圓
第七款 簡易實業專修學校費 [illegible]
第一項 雜給 [illegible]
第二項 需用費 [illegible]
第八款 學校衛生費 [illegible]
第一項 雜給 [illegible]
第二項 需用費 [illegible]
第九款 基本財産造成費 [illegible]
第一項 基本財産造成費 [illegible]
第二項 學林造成費 [illegible]
第三項 學林費 [illegible]
第十款 財産管理費 [illegible]
第十一款 諸税 金千參百七拾圓參[illegible]
第十二款 雜支出 金八拾五圓貳拾[illegible]
第一項 借地料 金貳拾貳圓六拾[illegible]
第二項 滯納處分費 金貳拾八圓
第三項 過年度支出 金參拾參圓
第四項 一時借入金利子 金ナシ
計 [illegible]

歳出 臨時部
第一款 小學校費 金五萬白八拾八[illegible]
第一項 改築費 金貳千貳百九拾[illegible]
第二項 元町小學校整理費 金九[illegible]
第三項 設備費 金五千百四拾六[illegible]
第四項 校舎新築設計費 金貳百[illegible]
第五項 櫻井小學校新築費 金參[illegible]
第六項 西大門小學校新築費 [illegible]
第七項 小學校手工室新築費 [illegible]
第二款 高等女學校費 金貳百拾參[illegible]
第一項 改築費 金貳百拾參圓六[illegible]
第三款 學校衛生費 [illegible]
第四款 寄附及補助 [illegible]
第一項 組合債償還 [illegible]
第二項 [illegible]
計 金九[illegible]
歳出合計 [illegible]
歳入出差引殘金 [illegible] 翌年度ニ繰越

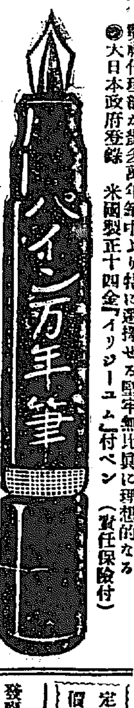
模範 牛乳
ニウソ 石鹸 洗粉
主任 獸醫 肥塚正太
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話五二番

赤毛を生ぜしむるの憂ひ絶對になし
レートポマード

此の新煉香油生れて男子にはコスメチック、女子には鬢附が全く不要!!
それ程附け工合こいひ、匂こいひ一點の非のない最新式の煉香油です
東京 平尾賛平



東京下谷池之端仲町廿七番地
寶丹本舗十三世 守田治兵衛
振替東京二九八五
各藥店にあり
定價 金十錢・金二十錢・金三十錢・金五十錢・金壹圓
三十錢以上は徑美な寶丹匙を添ふ



弊社代理部が幾多萬年筆中より特に選擇せる堅牢無比眞に理想的なる
●大日本政府登錄 米國製正十四金「イリジューム」付ペン(責任保險付)
各種萬年筆即時修繕
完全なる設備と老練なる技術者に依る
京城旭町二の六
東京パイン萬年筆出張所
發賣元 京城太平通一丁目 京城日報代理部
振替京城三〇〇番
京城本町二丁目 ウツボヤ書店

第三版

京城日報

九月十四日
（夕刊と合せて八頁）

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵税一ヶ月金五錢 ▲郵券代用は一割増

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

講和提議

京城日報

最近歐米電報、連りに羅馬法皇の再び交戰諸國政府に移牒して、講和を促がすべきことを傳ふ。然れども吾人の知る所を以てすれば、交戰各國政府は、過日羅馬法皇の移牒を受取りたれども、今猶ほ審議熟考中にて、回答書を致したるは獨り北米合衆國のみなりと云ふ。各交戰國の回答書が、悉く法皇廳に致されたるの後ならば格別なれども、各國政府の回答の至るを待たずして、講和を促がすといふが如きは有り得べきの事にあらず。

或は今日を以て、講和促進の最好時機なりと爲すものあり。其說に曰く、七月以來の西部戰線の戰鬪は劇烈なりとは云へ、大決戰たるに至らずして止息し、其結果に就て之を見れば、英佛軍は不利にして幾歩を進め、之に對して獨軍は苦戰を重ねて、幾歩を退きたりと云ふに過ぎずして或は今年は是れだけにて戰鬪を止め徐ろに來春の外なかるべし。他の一方に露西亞は敗退又敗退、其首府をも保ち難き爲證にて、これより先き、露國假政府は協商國に向て、大なる援助を受くるにあらざれば、戰爭を繼續する能はざることを告げたりと云ふ風評すらこれ有り、尤も其後、北米合衆國政府は、全力を以て露國を援護すべきことを發言したりと云ふ。露國民たるもの、米國の援護を恃みて大に奮發する所なかるべからず。然れども兎も角も、今日は頗る苦境に立てるを以て、若此間に講和を促がさば、必ずや相當の効果あるべしと、或者の言亦幾分か尤もらしき節なきにあらずと雖も、英佛諸協商國は初めより長期戰役を支持するの覺悟あり。新たに戰役に參加したる北米合衆國、亦其大軍を歐洲戰線に出して、大決戰を行ふの準備最中なり。如何に講和運動に力むるとも、今日は羅馬法皇若くは北歐羅巴中立國、如其交渉に應ずるものなかるべし。昨今歐羅巴より來る報道區々、或は獨軍長驅してペトログラードを衝くべしと爲し、或は莫斯科を攻擊すべしと爲すがごとくなれども、專門家の意見を綜合するときは、獨軍は是れより以上に進擊を企つることなかるべし。獨逸は今春以來、漸く疲弊の實を暴露し來り、只退いて守るを是れ事とす。其の西部戰線に於ける作戰は、退嬰一方にして、如何に進擊すべき好機會に遭ふも一歩も前進せずして、只出來得るだけ自己の戰線を縮少し、後方事務の便益を圖るに汲々たり。然らば斯る退嬰主義の獨軍が何故にリガを攻陷したりや、是れ恐くは獨軍が進みて取りたるにあらずして、露軍が棄てゝ走れるに由るものなるべく、昨今獨逸陸海軍相應じて、リガの水陸に活動しつゝありと雖も、是は單に露人の委棄せるものを拾得するの形式を示すに止まり、復た進むの力あるべからず。特に是れより露土氣候不良なる上に、冬期冱寒の季節が近づき來るべくして、只さへ疲弊を極むる所の獨逸軍は、到底露國內に深入りするの力あるべからず。大局より云はゞ、獨逸が此方面に手を擴げたるとは、寧ろ其の痛苦を增加する所なるべく、兎も角も、今日の露西亞は單獨講和を爲す能はざるの地位に在り、獨軍如何に威勢を以て露國民を威ぞすとも、何等の効果なかるべきや言を待たず。

戸籍屆出（下）

在鮮内地人に注意

其の後大正四年四月時勢の進運に鑑み從來警察官署に於て取扱ひ來りし民籍及び住居に關する事務を府尹面長の管掌に移したりしも前記戸籍の屆出は依然警察官署をして之が取扱を爲さしめたり、茲に所謂民籍とは朝鮮人の戸籍にして民籍法の支配を受くるものは單り朝鮮人のみに限らるゝも居住は內地の寄留に該當し苟くも

△戸籍外に居住する者は其の朝鮮人たると內地人たると外國人たるとを問はず居住規則の支配を受く可きものにして從つて內地人が朝鮮內に居住したるときは一定の期間內に之が屆出を爲さゞる可からず然れども之は單に朝鮮に居住する關係上居住規則の支配を受け屆出を爲すに止り內地の戸籍とは全然交渉なきものとす然るに內地人の中には往々之を混同し民籍移管の結果戸籍に關する屆出をも亦た府尹面長に於て取扱ふものと誤解し之が屆書を提出するものなきを保せざるを以て大正四年六月官通牒を發し若し誤つて戸籍に關する屆書を府尹又は面長に提出したる者ありたるときは直接郵便に付し

△戸籍吏に屆出を爲すか又は所轄警察官署に提出す可き樣注意せしめ以て屆出期間を懲らざる可き樣取計はしむることゝなれり。以上記するが如く朝鮮に在住する內地人の戸籍に關する屆出は韓國併合前と併合後とは其の取扱官署及び屆出の効果を異にしたりと雖も內地官憲と交渉の結果法定の期間內に屆書を郵便に附して直接戸籍吏に送付するか又は在朝鮮の所轄警察官署に提出するときは假令期間經過後に屆出が戸籍吏に到達するとも屆出遲怠の責を負はざることゝし以て屆出人の實際上の便宜を計りたるを以て併合後に於て特に

△內地人が不利の取扱を受けたるが如き事實なし、尚は茲に注意す可きは居住規則に依る屆出と戸籍法に依る屆出とを混同せざらむことと之なり、前にも記す如く居住と戸籍とは全然其法規を異にし假令居住の屆出を爲すも單に居住登錄簿に登簿せらるゝに止り府尹面長より屆書を戸籍吏に送付す可きものに非ざるを以て從て戸籍に記載せらるゝことなし故に例へば朝鮮に居住する內地人にして

△出生又は死亡等の事故發生したる場合には居住規則に依り府尹面長に之が屆出を爲すと同時に戸籍法に依り別に戸籍吏に之が屆出を爲さゞる可からず若し夫れ戸籍の屆出を爲さゞらむか朝鮮に在りては登記簿に出生死亡の記載を爲すも內地に於ては戸籍の記載を爲すに由なきを以て戸籍上は死者尚生存し生兒未だ出生せざるが如きこととなる可し、いふ迄もなく戸籍は人の身分關係を明確にすべき公文書にして之が記載の如何は延て諸種の權利義務に影響あるべきを以て之が屆出を遲滯せざらむこと肝要なり

秋晴れ　古賀祐雄筆

京城日報詩壇

○聽人彈琵琶　一番瀬聖山

孤鶴漫漫暝蒼昊、秋思如水一番清律、高樓有客筵未散、忽聞劍戟起東隣、風送商調斷還續、非琴非笙入耳新、主賓感歎欲邀召、恐爾倚兒往返頻、忽抱雲和來著座、渲痍滿面聲如銀、嚶嚶撫慢撚信手彈、駛彈緩曲妙入神、鈍弦急撥龍香撥、嘈嘈切切氣益振、鐵騎突圍塵刀戟、回驟吹雨捲胡塵、指底清音旣斷腸、否頭躍如魏盞臣、忠勇父子代君死、義烈夫妻殉殺身、悲壯慷慨鬼神泣、滿座鳴咽齊沾巾、千載猶使儒夫起、忠孝本出天唯眞、雅實散水何足云、鼓吹士道叙彝倫、笑殺當年青衫馬涙、不濺忠臣湊美人。

評曰前半形容曲盡、後半發悲壯之音、結二句何等發策。

○午睡　西村秋湖

旱雲飛火假空蒼、特地炎氛滿漢陽、頼有庭三松嶺影、北窓一枕夢初涼。

評曰讀到後半忽忘炎氣。

○朴淵觀瀑　內田六園

昔香石氣滿清陰、恍看老龍潭上吟、噴沫如珠峽中散、炎天六月淨塵襟。

評曰無現無觀勳讀之襟腑覺瀟灑。

○苦熱　竹田蕉雨

雲峰如畫漢陽天、不管炎塵厄燈前、端坐高吟羽衣曲、北窓忘夏興悠然。

評曰饒有餘情。

○月下聞鶴（限韻）　永石烏石

嘹亮頭呼酒對嫦娥、戛戛時聞喉鶴過、赤壁風流誰又識、扁舟不見大江波。

評曰清楚瀟遠、見一段工夫。

○苦熱（限韻）　笹島紫峰

午熱如洪草屋低、復無籬馬向風嘶、門前頽有五株柳、移榻濃陰詩卷攜。

評曰優而不俚、與近而遠。

○古寺瓦（限韻）　安永春雨

巴字成紋光澤深、瓦全一片値千金、幾人春雨秋霜夜、摩到風流好古心。

評曰不著悲哀之語、却覺妙。

○寄友在滿洲　古城梅溪

鐵路運通見改良、皇風滿被遍陬蠻、同胞完竟要同化、莫以閲牆損國光。

評曰自滿洲統一策來、意匠斬新。

○竹陰讀書　田淵桑州

城中六月暑難堪、來向萬竿臨碧潭、借榻濃陰細卷帙、此身疑是在湘南。

評曰搖之曳之、風神無限。

○皆凝　大隆嶋仙

午亭也解汲泉烹、一陣老僧忘領禁、當枕溪山竹窓外、誘人佳句夢中成。

評曰佳構可喜。

誰（66）

布施生譯

侯爵が忿つた通り、千振家では、藏部の悪書を喜んだのである、姫はもう先刻から千萬の思ひに胸は亂れに身體を支へてゐたのが此時には最早堪らずくろ／＼と舞ふかと思ふとうむと一聲氣絶して仆れかゝつた。母夫人は流石に驚いて召使を呼ぶと先刻から恐さが半分好奇心が半分で室の外に押合ひへしあひ立聽してゐた召使共は一時にどや／＼と飛込んで各手に姫を擁へながら別室へ伴出した。それから數週間經た後である。母夫人は姫と美保女とをつれて窃と倫敦へ旅立つた、そして柚木某といふ名で町から少し離れた田舍に家を借りた、兎角する間に月滿ちて丁度五月の末姫の腹から男の子が一人生れた、母夫人は其名を賴太郎とつけた。産れ落ちた小兒の處置は母夫人の方で彼々考へ定められてあつた、手筈もちやんと出來てゐたので産れると早速幾許かの金子をつけて藁の上から近所の百姓にやつてしまつた。百姓は何の詮索もせずに一生音信不通の約束で賴太郎を引取つた、姫は母夫人の計畫を知るや勿論一生懸命に爭つた、しかし毎時も母夫人に說伏せられて到底主張の通りやうは無く、意をなつた時はもう棄鉢の氣味で、折角生れた戀人の遺子を涙が出るほど雜作に永久の別離をして仕舞つた。七月になつて産後の身體も悉皆肥立つと、母子は又美保女をつれて復び故郷へ還つてきた、幸に倫敦での長逗留も村の人には何の疑ひも起させなくて、結局姫の懷胎と云ふ事は少しも世間に漏れず濟んで仕舞つた。姫は毎日鬱々と暮した。

姫を圖島にして大富豪と緣を組まうと云ふ母夫人の目算はこんな事でがらりと外れた、母夫人は失望の餘りもう大分前から傾きかけてゐた財産はこうして愈傾いた、まだ殘つてゐる廣い畑も手入が屆かないから收穫は昔の半分にも足りなかつた、それでも夫人は外聞を厭ふてそれを手離す事は承知しなかつた。そして內々質入して取つた金子は右より左に使ひ果てた、母も子も行末に希望のない亂暴な生活がそれから四年も續いたが、其うちに家の借財は段々殖わて今は一萬圓をすんと越わた、利子を拂ふだけでもどうして容易な事では無い。藏部からは一向音信が無かつた。

丁度其頃の事であつた、政府でローヌ河の改修工事をする事になつて若い土木技師が一人調査の爲に此村へ來て滯留した、技師は巴里の大富豪の息子で保部安人と云ふ名であつた、素より巴里子の事で品格もよく金使ひも奇麗で加之に愛想のよい青年であつたので、彼は忽ちのうちに村で人氣者の一人となつて仕舞つた其保部が或時不圖綾姫の姿を垣間見ると一目に其美しさに動かされて是非とも宿の妻にしたいと思込んだ、しかし零落れても先方は大名華族の姫君である、身分の相違に保部は最初思類んだが、堪兼ねて或時伯爵夫人と交情のよい或老婦人に其身の思を打明けた。

夫人も當初は身分の釣合と云ふ點に二の足を踏んだが、しかし思返して『そりや出來るかも知れませんよ何分先方は此頃大分お手許が苦しいのですからね、貴方の方で其邊の事を含んでおあげなされば』と勵ましてくれた、しかし自分で媒介しやうとまでは流石言兼ねた樣子であつた保部は決心して機會があり次第直接判をしやうと專ら隙を覗つた、機會は案ろ容易に來た。

雜誌抄

●秋茄子と嫁（納屋の珍味）

嫁御ひ嫁ひな姑殿が、秋茄子の美味が惜しかつた俗諺がありますが、『夫木集』と云ふ本に『秋茄子早酒の粕に漬け交ぜてヨメにはくれじ棚に置くとも』の歌詞から出たのでありませう。が其のヨメとは鼠の異名であるのを嫁御様と誤つたも過言から出た諺で、愛嬌があります。而し本草大家小野蘭山翁は『秋後、茄子を多食すれば女子は子宮を傷ふ、婦人は食して益なし。又目を損ず』と云はれましたから、マアく嫁ひな嫁御には喰はせない方が得策でありませう（小野日本女子高等學校理事）

當工場製作各種鑛山機械は朝鮮物產共進會に於て一等賞牌狀を授與され朝鮮鐵界に於ける最初の受賞者たるの光榮を得たり

何れも新品同樣當工場在庫

立型徑六呎 外國製長十二呎 水壓百五十封度 一個
同上 徑三呎 長五十呎 水壓百四十封度 一個
同上 徑二呎六 長六呎六時 水壓百五十封度 一個
同上 徑三呎 長七十呎 水壓百六十封度 一個
チユーブボイラー 徑三呎 長六呎六 水壓百六十封度 一個
コールニツシユ型 徑三呎六 長十二呎 水壓百五十封度 一個

京城岡崎町 電話二五六番 中根工場
南大門通五 電話長一〇四番一〇五 中根販賣部

□當店は物價低廉の際輸入在庫品豐富に付先般來日本へ移出中の所船腹不足の爲め是又時日を要するを以て今回朝鮮內に於て一大放賣を決心し既製品の賣價は勿論加工鐵工一般の業務を廉價に御注文に應じ候間何卒御用命願上候

SPONGE TYRE MADE IN JAPAN PATENT ON 27883 MADE BY SPONGE TYRE & CO.
スポンジタイヤーの提供
絕對にパンクの恐なし 耐久力絕大にて 理想的タイヤーなり 長旅行安全なり
空氣代用のタイヤーを外國にても多年研究中完全無欠の本タイヤーは我國にて發明せられたり
日本 英國 露國 印度 佛國 米國 專賣特許品
朝鮮一手販賣 釜山西町一丁目 〇〇商會

會員募集
第十回新學期開講
普通文官養成講義錄
立身の捷徑
普通文官となるにあり全國無數の普通文官の席は年々空席を生じて有爲なる青年の來るを待つ一日も早く就職せんと欲する人、官吏となりて社會の上層に立たんとする人は速に來れ、本講義錄は最懇切に試驗及第を唯一の眼目として編纂せられ高等小學卒業の學力にて充分了解し得べく年々多數の合格者を出しつゝあり
日本大學法制學會編纂 ▲林博士、中村博士、青木博士、清水博士、副島博士、横田博士、板倉博士、其他諸名家講述
名譽顧問 前司法大臣 尾崎行雄 ・卒業一個年・見本會則申込次第無代進呈
會長 貴族院議員法學博士 石渡敏一 ・入會金免除・奬學金進呈其他種々大特典あり
入會の最好機 來れり
東京神田駿河臺袋町（電話本局二〇〇三・二〇〇四）日本大學法制學會出版部

最新刊
●法理學大綱 穗積重遠 八〇
●親族法大意 同 八〇
●世界の變遷 鹿野千代槌 一、三〇
●大英國新業務 田中華一郎 一、〇〇
●人生と教育 稻毛詛風 一、五〇
●國民道德百解 富吉 一、三〇
滝名人關根金次郎著 將棋勝敗此の一手 定價六十錢
●繪入アンデルゼン御伽噺 二、二〇
●注文取の秘訣 清水正巳 八〇
●早く上手になるカド式習字用三體手紙の文 三五
●婦人文庫生花の卷 齊藤鹿山 一、〇〇
京城本町一 電話六〇八・一〇八〇 振替京城二五七番 大阪屋號

御待兼の萩の餅賣出し
製藥博士 本城屋 電話二三四三

値上急告
諸物價暴騰の結果左の通値上實行仕候也
一、各種時計 二割以上
一、金銀製作品 一割以上
一、眼鏡及レンズ 一割以上
一、修繕料 二割
大正六年九月
京城時計商工組合

東京株式 大阪株式 二〇九、四〇
大阪限米特吉 二〇六、六〇 二五四、〇〇
仁川期米 一九八三 一九八一 一九八三

▲保合小堅し ご寄付一歩三錢と弛みたるも④今其他より買物多く一面④は其他より買向ひたるも八錢と上節し五錢と押し六錢と散會を告げたり市況は前日米穀庚も三十五錢と上伸したるも拔く能はず因

▲仁川現物界 十三日の十一月限 後場 寄付 十七圓三十四錢 止メ 十七圓三十六錢

九月限 取組高 四千四百石

露國內の騷亂

▲內閣組織變更決定 ケレンスキー首相を執行官に推す

露國假政府內閣員は一致して內閣組織を變更しケレンスキー氏を執行官に推しペトログラード軍管區別を廢し新たに都督府を置くことに決定せり同地駐在の軍隊は平穩にて政府擁護の意を表し又哥薩克軍の態度は不明なるも政府は其中正を期待し居れり尙勞兵會民主黨其他各政黨は國民的內閣樹立の意見を有するもケレンスキー氏强て執政官制度を主張するに於ては之に贊成することゝ並びに出の際政府に對しロジヤンコ、グチコフ等議會臨時委員會全員の捕縛方を要求するに決せり（露都電報）

▲遂に兵火に見ゆん ケ首相コ將軍調停全く絶望

ケレンスキー首相とコロニロフ將軍との間に於ける調停は全く絶望となれり兩氏は斷然兵力を以て爭ふの外なかるべしリオフ公がコロニロフ將軍の陣地に赴けるは調停の爲めならんも一般の觀察は絶望なりと認められつゝあり（露都電報）

▲ケ首相直屬軍の警戒

露都附近の鐵道各用地にはケレンスキー首相直屬の軍隊規則正しく能く其の命令を奉じ各要地に砲列を敷きてコロニロフ軍の進擊に備へつゝあり警戒頗る嚴重なり（露都電報）

▲兩軍愈よ衝突す

コルニロフ軍の一部隊は本月九日露都を距る四十二露里の地點アントロプシー驛附近にて政府軍と衝突し兩軍互ひに死傷者を出したり（莫斯科電報）

○米戰時增稅案項目

米國の戰時增稅案は十日上院を通過し下院との協議會に移れり、豫定收入二十四億弗に增加し重なる項目は非常利益稅、所得稅、酒、煙草稅、交通稅等にして茶珈琲等の消費稅賦課及び郵稅の增加の項は削除せられたり（桑港電報）

觀瀾亭雜俎　蘇峰生

○人或は曰く、吾國の思想界には、獨逸派、英米派の二個の潮流あり、互ひに鎬を削りつゝありと。果して然る乎、吾人は我が帝國の爲めに、頗る之を不祥事とせずんばあらず。

○何となれば是れ我が國民が、精神的事大主義の弱點を、自から暴露する所以なれば也。若し我が國民にして、眞に日本的文明の眞本領を把持せば、獨逸流にても、英國流にても、其の善者は遠慮なく、採りて我用に供し、其の不善者は遲疑せず、捨てて顧みざる可きにあらずや。

○所謂る獨逸流とは、獨逸を仰いで本尊とする者にあらずや、所謂る英國流とは、英國を崇めて宗師とする者にあらずや。切言すれば、彼等は英獨の思想、臭味に囚はれたる奴隷にあらずや。果して然らば、之を以て事大主義者と稱するは、彼等の意氣地なき、腑甲斐なき態度を表示するには、寧ろ餘りに穩和に失するの言と云ふ可き歟。

○日本帝國は、日本國民によりて組織せらるゝ帝國也。然るに精神的に於ては、獨逸、英國、米國、佛國等の植民地と云ふ、不可なきが如きあらば、是れ帝國の一大國辱にあ[illegible]八は國[illegible]帝國[illegible]中にさ[illegible]權擴張者、帝[illegible]へも、此の如き[illegible]囚奴を、見出すを悲しむ[illegible]

○中村都督動靜

中村關東都督は高山參謀長、隈部警務總長以下[illegible]臨視の途[illegible]守備隊及衛戍分院を巡閲し其れより表忠塔に參拜したる後憲兵隊を巡閲し[illegible]歡迎會[illegible]

◎昨年青島貿易

五年度青島海關收入は銀一百兵十九[illegible]島開港以來第二位の好成績を示せり增加の原因は銅塊輸出稅多額なるに[illegible]爲めにして此輸出稅を控除せば[illegible]一朔即ち一[illegible]示したる爲め輸入貿易は繁盛なりし[illegible]

[illegible]二七〇、〇〇〇　二四〇、〇〇〇[illegible]

[illegible]十萬兩の多額に上れり尙戰前即ち民國二年度青島輸入の國別並に割合は[illegible]日米佛支の各國船二分の割合なりし[illegible]千百萬兩を算し中にも獨逸汽船に依りたるもの五割四分英船四割四分[illegible]

新任外國派遣臨時委員長　目賀田種太郎男

○米國瑞典國交斷絶か

瑞典人が南米亞爾然丁船舶擊破の仲介に努め居たる事に關し米國と瑞典との間に國交斷絶するに至るべく此の險惡なる形勢は次第に發表すべく豫期せらる（桑港電報）

○獨逸軍事公債募集

獨逸政府は本月十九日より十月十八日迄を期し前回同樣の條件にて第七回軍事公債を募集する旨公表したり（倫敦電報）

○馮段兩氏紛爭解決

臨時參議院召集に關し馮大總統及び段國務總理間の紛爭漸く解決を見るに至れり（北京特電）

○廣東內閣員選擧

廣東議會にて內閣々員を左の如く選擧したり（廣東特電）

外務伍廷芳▲內務孫洪伊▲財政唐紹儀▲陸軍張懷芝▲海軍程璧光▲交通胡漢民

○特使國務卿商議繼續

石井特使と米國々務卿ランシング氏との正式商議は十七日迄繼續せらるべし（華盛頓電報）

○吉長借欵改訂協商

吉長鐵道借欵改訂協商は細目に渡り進行中にして二十日頃調印の運びに至るべし（北京特電）

○林公使の招宴

林公使は段國務總理以下各部總長次長秘書長等四十餘名を公使館に招待し盛宴を張り從來絶ゑて宴會に出席したる事なかりし段總理が珍しくも出席し夫れのみならず撤宴後夜半まで鳥鷲を鬪はしめたるは稀有の事なりとの噂北京社交界に高し（北京特電）

○近藤所長一行 釜著

東京砲兵工廠技術課長陸軍少將松浦善助、會計課長陸軍一等主計正前川逕、朝鮮兵器製造所長砲兵中佐近藤兵三郎氏等一行は十三日夜連絡船對馬丸にて釜山著、午後十一時發列車にて龍山に向ふ一行は龍山著の上長谷川總督及び松川軍司令官に敬意を表し夫れより平壤に向け出發すべき豫定なり（釜山特電）

◎八月鐵道荷動（上）

前月に比し出荷增加 石炭、木材、雜穀輸送盛況

八月に於ける荷動狀況を見るに發送噸數十七萬二百九十三噸、收入四十八萬九千九百十七圓にして之を前年同期に比較するときは噸數に於て四萬千五百八十三噸（三割二分）收入に於て十五萬二千四百三十五圓（四割五分）の增加を示せり今出荷の主なるものを擧ぐれば次の如し

順位	品目	噸數
一	石炭	二七、二六六
二	木材	一五、二三〇
三	雜穀	一三、五四四
四	米	一一、〇九三
五	大豆	八、二八〇
六	鑛石	六、七一四
七	豆粕	四、七九〇
八	鹽	三、七三五
九	肥料	三、〇六四
一〇	鹽干魚	一、八〇七
一一	黑鉛	一、七七八
一二	繩叺	一、五七二
一三	煉瓦	一、四九三
一四	木炭	一、二四八
一五	石油	一、〇二四
一六	セメント	九〇〇
一七	明太魚	八八三
一八	生果	八四〇
一九	石材	六五六
二〇	生牛	六一四

（一、二三三頭）

次に同年同期に比し增減の著しきものを擧ぐれば左の如し（▲印は減を示す）

品目	增減噸數
雜穀	七、五四一
石炭	六、六四五
大豆	六、四八九
豆粕	三、五七〇
米	三、〇四六
木材	一、九一七
鑛石	一、八二五
鹽	一、七五七
石材	一、六〇六
肥料	一、三三四
繩叺	九六七
煉瓦	六四一
鹽干魚	五〇〇
生牛	四二八

（▲一、八五二頭）

主要貨物の出荷概況次の如し

▲石炭　前月に引續き荷動好況にして依然主要貨物中其の首位にあり就中平壤鑛業所炭の出荷最も殷盛を極め無煙炭一萬三千二百三十二噸煉炭千三百三十八噸を算せり安東發撫順炭も亦盛況にして一萬千五百五噸に上り新安州發安州炭七百二十七噸あり總噸數に於て前年同月に比し六千六百四十五噸の激增を示せり

◎客月京城貿易

京城稅關出張所の調査に由れば客月中京城貿易額は輸移出品總計十三萬八千五百八十一圓輸移入品總計百六十四萬五千百六十八圓にして之を前年同期に於ける輸移出十四萬二千五百五十三圓輸移入百三十三萬九千七百七十七圓に對比すれば出に於て三千九百七十二圓の減、入に於て卅萬五千三百九十一圓の增を示し著るしき入超の情勢を保持せり而して本年一月よりの累計額輸移出に於て百十五萬四千二百四十三圓輸移入に於て一千百五十二萬六千三百四十圓を前年度累計額に對比する時は出に於て四萬七千餘圓の減、入に於て二百九十四萬餘圓の增加を示せる譯となる。翻つて客月中京城貿易の主要品に就て觀るに輸移出に於ては牛皮の三萬二千二百餘圓を優なるものとし煙草の一萬九千四百餘圓、大豆の七千八百八十七圓、肥料の四千二百九十圓、米の二千五百八圓等を主なるものとせり而して輸移入に在りては生金巾及び生シーチングの七萬二千百餘圓、晒金巾及びシーチングの六萬七千七百餘圓を筆頭とし粟、日本木綿、毛織物、綿織絲、綿絲及び打綿等を主要品とせる事例月の如し稅關倉庫に於ける在庫品の主なるものは京城を中繼地として滿洲、ハルビン方面へ輸出さるべき毛織物其他綿布、綿絲類を以つて充滿され殆んど餘地を見ざる有樣なり、各種各物は既に先月頃より出廻り其他小麥の出粟の入庫を見ざる等僅少の變化ありたる外例月の如く稅關倉庫は活況を呈し居れりと

◎櫻丸代船決定

關釜連絡船たりし櫻丸は既報の如く船主側なる日本海事協會に於て賣却したるに付き鐵道院に於ては是れが代船として日本郵船博愛丸を傭ふ事となりたり博愛丸は明年三月櫻丸の傭船契約解除期を待ちて就航せしむる筈なりと

◎秋繭販賣日割

京畿道管內目下施行中の秋繭共同販賣十四日後の日割及び場所左の如し

▲長湍十四日▲開城、安城十五日▲加平十六日▲抱川十八日

○財政經濟委員制度 委員長以下を米國に派遣す　理由

海外財政經濟臨時委員制度設置に關し十三日午後二時首相官邸に於て理由書を發表し同時に別項の如く目賀田委員長以下の任命ありたり理由書の大要は今回此の制度を設けたるは世界大戰に際し海外列國の財政、經濟に關する施設を調査して戰時並びに戰後に於ける發展に資する爲めにして隨時斯道に堪能なる人士を選拔し是れが任に當らしめんとす而して今回帝國と最も密接の關係ある米國に向け委員長目賀田男爵以下各委員を派遣する事とせり米國は今や非常なる決心を以て戰爭に參加し戰時財政の施設及び是に伴ふ經濟政策に就きて研究し而も其の希望頗る大なるものあり將に世界の產業及び金融界に新生面を開かしめんとす此の際委員を派遣し彼我の意志を疏通し其後の利害關係を一致せしむるは國交上有效なるのみならず帝國の產業金融界に光明を與ふる效果を齎すべし（東京特電）

○財政經濟派遣委員任命

財政經濟處辦に關する外國派遣臨時職員委員長委員十三日午前十一時左の通り任命さる（東京特電）

委員長　男爵　目賀田種太郎
委員　大藏書記官　松本脩
同　臨時調査局技師　坂口武之助
同　臨時調査局事務官　男爵　伊藤文吉
同　朝鮮總督府通譯官　菱田靜治
同　久原合資會社重役　小池張造
同　三菱銀行重役　松本健次郎
同　住友銀行重役　山下芳太郎
同　三井銀行重役　米山梅吉

◎僧侶團東京發

朝鮮僧侶團金九河師等一行は十三日午後九時東京驛出發伊勢大廟に參拜の爲め西下せり（東京特電）

◎京畿禁漁區域

京畿道にては此程告示を以て管內漁業禁止區域を左の如く定めたり

▲位置江華郡吉祥面東檢島西南方海面▲其區域東檢島西南甲▲區域甲より乙まで二四三度七分一八〇五間甲より丙まで二四三度一八八五間甲より丁まで二四〇度一八八間甲より戊まで二四〇度五分一七八八間乙丙丁戊の各區間は百間にして此各線を以て圍まれたる水面一萬坪を以て區域とす

◎諸戶家土地買收

三重縣の富豪諸戶家よりの出張員は其後引續き全南北兩道各地視察中の處去月二十三日同家當主人渡鮮の上群山に根據を置く事に決定二三の農場及び敷地等目下買收交涉中なるが同家投資の目的は營農植林工業等各方面に亙り差向き耕地三千町步を買收し漸次植林に移り工業に及ぼす順序にして既に全羅南北兩道にて五百町步餘契約を了し引續き二百町步買收の交涉中なりと

人事消息

▲松本誠之氏（兵庫縣代議士）　十三日朝入京朝鮮ホテルへ
▲久我清廣氏（朝鮮銀行安東縣支店長）　十三日入京不知火へ
▲塚本直氏（海軍造兵中監）　同上京城ホテルへ
▲福岡教育視察團　十三日夜退京
▲大阪關西學院生徒見學團（十七名）　十三日夜入京原金へ
▲野口耕一氏（土木局元山出張所長）　同上浦尾へ

百聞百種

昨日閑子が山內司法省參事官の洒豪について鳥渡御紹介申した處が▲同窓の秋雨生君から未だ面白い逸話があると態々寄書されたから▲最う一とつ山內君に敬意を表し茲に寄書を借用する事仍て如件▲山內君が第一高等學校時代に同窓で酒豪の雙璧と呼ばれたのは前代議士高橋慶太郎君である▲此二人は意氣も投合して能く呑んでメートルをあげたもんだ▲天長節に本郷豐國といふ牛肉屋で二人相携てあがり込み鰯十枚にお銚子五十本（一斗）を平らげ踊りがけ醫科大學の門より構內を横切り赤門を出でんとした▲時將に夜十時赤門は閉ぢてあつた二人は大喝一今天下の英雄轡を併べて通過せんとすイザ開門あれ」と呼ばはつた▲門衞は語を和らげ之を宥めたけれど二人は聽入れないで鐵拳を揮つて門を打叩いた▲門衞はたまらず五人がかりで兩君を組伏せようとした▲兩君は隅田川で鳴らしたボートの選手、山內君は鬼角と呼ばれ高橋君は蠻慶と言はれた豪の者▲こゝに兩君對門衞の大立廻りが始まつた時偶々故大學書記官濟水彥五郎氏が通りかゝり双方を宥めてわけた氏▲之れが爲め兩君は退校處分にならうとしたのを兩秀才の前途の爲め心配せる教授や同窓生の盡力によりやつと譴責で濟んだ▲「大學の赤門破り」と言つて當時有名な話であつた▲兩君は之を記念せんが爲め天長節にはいつも豐國で飲んで赤門を通過したもんだ▲高橋君はなんでも今朝鮮で鑛業をやつて居る筈だ

自動車運轉手
自動車!!自動車界は益々有望、運轉手と雖月收六七十圓以上（海外二百弗）其多大なる收益は高等學府を出でたる者も及ばざる也本校は實に自動車及修繕製作技師の養成と同時に自動車並附屬品の鑑識賣買等事業的方面之智識をも短期且容易に涵養を究極せしむる外特に通信教授の制を設け同一の課程を授く且本校は內外の自動車界に密接の聯絡を有するを以て徒手空拳都會に海外に雄飛を望む者既に職業の撰擇を誤り煩悶せる者子弟の幸福を思ふ父兄等に對し絶體的保證と滿足を與へ捷徑に致富成功の進路を開かしむ　規則送與
東京市京橋區　私立認可　自動車學校

購買入札
大豆五百石　監獄納
右購買ス詳細ハ大正六年九月拾參日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

物品購買入札
一、木炭（根炭）壹萬六千百貫匁　京城、龍山納
一、同（白炭）八千貫匁　龍山納
右購買ス詳細ハ九月拾四日以降朝鮮官報若クハ門前掲示ヲ見ヨ
朝鮮駐箚軍經理部

電話開通　長一五四六番
京城北米倉町　古金物商　有好商店

質　六口歡迎
黃金町二丁目長橋町　電話二九一六番
田村質店　商品擔保便利取扱

京日案內
普通 五十錢 壹回前金 四回前金（一圓[illegible]）
番外 壹回前金（[illegible]に拾錢增し）
▲申込後中途解約中止の節は前金返戾せず
▲六回以上の御申込は特に壹割引
▲御照會は返信附にあらざれば回答せず
▲御照會の節は必ず數字の番號御附記ありたし

普通
外交員及店員募集　但し經驗ある者
市內に要保證人
京城美濃屋自轉車店　電二三七三　560

◎女中至急入用　希望の者は左記へ照會ありたし
仁川　旭屋旅館　559

◎集金人募集　朝鮮語を解する齡廿五歲以上保證人二名要希望者本人來談
シンガーミシン會社龍山分店　561

◎金融　官吏商人の方大小口共迅速貸出　秘密嚴守　黃金町一の一九三朝鮮ホテル左側支那料理店金谷園備柏屋金融部　560

◎石版二號機械一臺◎石共他附屬品一切廉價賣却▲希望者照會あれ
鍾路　加來商店　543

古本買受申候　御報參上　本町一丁目（明治町通）野村書店　電三〇五〇番　525

◎男女記者並地方支局長採用十五圓以上百圓履歷要來談　電話二七七二
京城吉野町一ノ壹　二七魁新聞社支社　558

番外

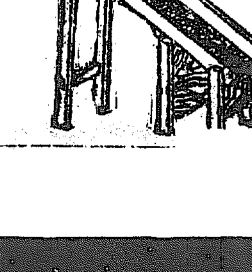
電力モーター　五馬力一台　三馬力一台　在庫
南大門外　電一〇四　二五六
工場（龍）　中根商會　561

年金　恩給　低利　四年半　迄無保險　即時立替
利子先引なし確實融通▲京城永樂町
商品陳列館表門前下角　江州屋本店　481

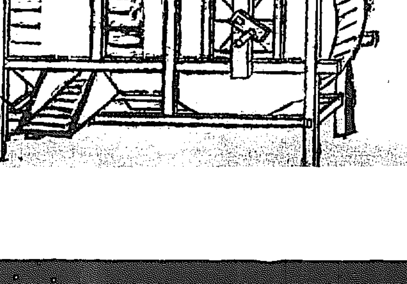
◎鑛物各種分拆
太平町二丁目　遠藤醬油店向側入る　電話二八二三
松永分拆所　511

◎新古ミシン賣買
電話又はハガキにて御一報次第參上
京城鍾路公園近　電話二三三八番　ダコ公
楠商店　556

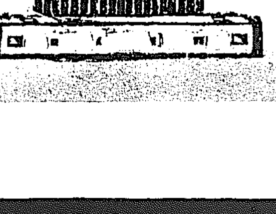
米穀調製用具各種
京城南大門通
戶田春藏
長電話三八六番　振替京城三七五番
工場　旭町二丁目　黃金町一丁目



◎萬石



◎唐箕



◎稻扱

……九時安東縣に來り森領事以下官民各……の出迎を受け直に六道溝に赴き……し午後……へ向け出發十四日同地滯在十五日朝運山關へ向ふ豫定なり(安東特電)

……に僅かに……十一萬七千二百二十二海關兩の減少を示せるのみにして……の成績なり而して五年度に於ける……品綿輸入價額は民國元年度の七割……八分九厘に當り二年度の七割二分二……又五年度は銀相場が……なる高率を……

品名	民國二年	民國五年
綿布	二一,〇〇〇,〇〇〇	一二,〇〇〇,〇〇〇

……表の如く概ね減少の跡を示……日用綿布の輸入は……きは民國二年度に……日本人向き……米國は依然五分を保ち獨逸は皆無となれり又從來沿岸開市場より轉輸せられたる外國品輸入額は民國二年……したり……

中村氏の理化學研究所

◇學者と資本家の協力一致◇
◇獨逸人よりも日本人が偉い◇

東京農科大學教授　三宅驥一博士談

鎭南浦の富豪中村精七郎氏が這回百五十萬圓を投じて理化學研究所を創設したるは頗る機宜に適した計畫である、自分は植物の方を擔任して居るが自分の方はいよ〳〵

▽此の十月から　設備に着手する筈である、費用は四五十萬圓を投ずることになつて居る、研究所の費用は年額十五萬圓、その中自分の方には三萬圓宛ることとなつたが費用は帝國大學で要するよりも遙かに巨きい、自分はまだ中村氏には面會したこともないが其の抱負が頗る面白いから主任となることを快諾して置いた

▽自分の研究は　染料、纖維、藥用植物、製紙原料、棉花等であるが猶ほ大學教授になり得るやうな秀才を招いて日本、朝鮮、支那の植物を調査したいと思ふ幸ひ中村氏は自分の係りのみならず研究所の總ての事業に對し些つとも功を急がぬといふ方針である、研究の結果面白い事業があつても向ふ十年間位は利益を擧げなくともよいといふのである、此の點は

▽大に獨逸氣質　であつて此の位の覺悟があれば相當の成績を擧げ得るだらうと思ふ、それで自分も充分立派な人ばかりを招致したいと思ふ、彼の獨逸が世界に雄飛したのも一面主として資本家と科學者とが協力一致した結果であつて日本などもぜひ此の點を學ばねばならぬ、例へば彼の印度の藍を全滅せしめた

▽獨逸の染料の　如きも今から三十年前、ミユンヘン大學の教授フオン、バイヤー氏の發明であつて廿年間に數千萬圓の巨費を投じた結果である、而も算盤は充分に引合つて居るのである、獨逸の工場では立派な博士を傭ひ込むで製造技師としてよりも寧ろ研究の方に沒頭せしめて居る、それで新らしい〳〵な研究が能きるものである、私も前後兩回獨逸に留學して居たが個人としての獨人は決して日本人よりも優れた國民ではない、唯だ遣口が日本より巧いのである、今日では政府の方でも理化學の研究所が設立せられたが民間に斯くの如き

▽自由な研究所　が出來たことは何よりの事である、私はさしづめ今日日本にないところの鉛筆用の木材と製紙原料と棉の代用品とを研究して見たいと思ふ――鉛筆は戰前主として獨逸から輸入されたものが今日では

▽日本から支那　印度は素より英國まで輸出されるやうになつた、蕊は黑鉛が充分だが亞米利加のやうな柏材がない、日本のは主にいちいぎを用ひてゐる

火藥庫護衛兵　叛亂計畫

八日夜上海に於て

八日夜上海火藥庫護衛兵叛亂の計畫をなせるを護軍使側にて探知し嚴重なる警戒を爲し同時に九日午前五時より火藥庫附近の道路は一切通行を禁止し又た機器局附近の水路も夜中船舶の航行を禁止したり尚八日夜の叛亂計畫に加擔したる兵士百二十名は佛蘭西租界に逃走せり(上海特電)

全國虎疫累計

十三日內務省公表に係る全國虎疫累計は二百七十二名にして其の地方別左の如し(東京特電)
▲京都一▲富山二十一▲石川四十▲群馬九▲新潟七▲東京二

山陽線列車衝突　脫線負傷者を出す

十三日午前四時三十分山陽線龍野驛着上り列車は下關發京都行列車と行違ふべく同驛に停車の折柄上り列車が乘客六十餘名を乘せて著車せる際衝突せしため上り列車食堂ボギー車脫線し下り貨物列車二輛脫線數名負傷したり(大阪特電)

少年騎士　手綱揃へて

◆愛らしい姿　京城乘馬練習所の花◆

この頃、獎忠壇や光熙門外を步いてゐると、未だ十歲前後のいたいけざかりの少年連の四五人が、逞ましい馬の頭を揃へて、路に溢れた秋草を踏みしだきながら

◉手綱さばきも鮮やかに　（轡を並べて悠々と遊んでゐる）

驅け步いてゐるのをよく見受ける、蒼鬱とした青葉の茂みの間から、乘馬服姿らしく乘り出して來る少年騎士の群れの勇姿の活動寫眞の畫面にありさうなのに足をとどめて振り返つて見る人も多い、この小さな公達は、いづれも初音町の

◉京城乘馬練習所で　今年の春頃から、練習を始めた連中で松本正寬氏(辯護士)令息の寬郎(一三)俊郎(一〇)の二兄弟、白上貞一氏の息子さんの砲一君(一一)田中半四郎氏の息子さんの博君(森與一郎君(一二)等のほかに同所の主任の野村氏の息子さんの耕一郎君(八)などでいづれも四月頃から始めてまだ半年にもならぬのに一年稽古した大人も及ばぬ上達さだといふ

◉大人と違つて教へられた以外少しの無理をせず自我流を出さず正しい騎り方をするのと天眞爛漫の態度で馬に接するために馬もよく馴れてよく言ふ事を利く、それに同所では少年連中の乘馬はそれ〳〵定めておくがそのために馬を可愛がることは非常なもので、馬廐へ來る時は馬の一ばん好物の人參だの青草などを毎日提げて來て與へるので

◉馬の方でも少年連中の顏を見ると急に前脚を曲げて敬意を表するさうだ、僅か五六箇月の練習で普通馬術は悉く覺え、近頃では稍高等馬術の部に屬する障害物飛越などをも面白がつてやるといふ、これに就いて野村氏は曰く「子供を始めから大きな馬に乘せる事は危險ではないかとも思つて見ましたが去年から試驗的に

◉今年八つになる私の倅に乘せて見ましたところ成績がいゝので引つゞき行らせてゐましたのを會員の方が御覽になつてお子樣を稽古させる事になつたのですが、實際やつて見ると些しも危險が無いばかりか、身體も丈夫になるし、精神的方面からも良いといふので親御さん達は喜んで居られるやうです、最初市街へ出るときは子供たちを

◉交る〳〵先頭にして　私が後に跟くやうにして　居りましたが、皆それ〳〵方向を旨く取つて直きに馴れてしまつたので今日では樂に、騎驅けが能きるやうになりました、年下ではあるが却々上手なのは松本俊郎君で田中博君などは大人が一年かゝつても馴らせないといふので問題になつてゐた常陸と呼ぶ悍馬をわけなく手馴けてしまつたのには一同驚いてゐる位です

◎少年連の乘馬練習

スミス氏飛行

釜山に於ける

釜山日報主催スミス氏飛行大會は十三日午後一時十五分開始せられ離陸後四回轉にて七百五十呎の高空に昇り逆轉八回横轉五回キルク拔き三回を試み六百呎の高空より急轉直下し夫れよりアーチを潜り再び四百呎に昇り逆轉二回にて降下著陸せるが此の間の飛行十六分間大喝采を博したり更に第二回は午後三時二十分開始離陸後三回轉して七百八十呎に昇り逆轉六回横轉三回キルク拔き一回にて五百呎に降り印度ダンスを爲して著陸せり此日快晴風なく絕好の飛行日和にて場の內外は數萬の觀衆を以て充たされ釜山未曾有の盛況を呈したり尚此日憲兵隊より昇騰を八百呎に制限し且つ危險の虞れある地點に於ての飛行を差止められたり因に同氏は十三日午後十一時發列車にて京城へ向け出發せり(釜山特電)

◉腸チブス　京城櫻井町一丁目五十六番地吉崎すゞ(三)は十一日腸窒扶斯と診斷▲又林町二百二十一番地中村光助(一)は十二日同病と診斷

◉英語聖書講義開始　南大門通京城基督教靑年會にては聖書に對する知識と英語の熟達とを期する爲め本月十六日曜午後三時より同會館にてバイブルクラスを開始し來る十六日第一回を催す由なれば希望者は直に同會に申込可し

唯だ「眞劍」の二字に盡く

◇◇鮮人教育狀態を視察して◇◇

朝鮮教育視察團長　根岸福彌氏談

朝鮮教育視察團一行は十三日京城仁川を視察し午後九時四十分南大門驛發列車にて平壤に向け出發したるが團長根岸福彌氏は觀察の感想を語つて曰く

朝鮮半島に於ける我總督府の施設が有ゆる方面に多大の好成績を擧げて居る事は一度朝鮮の地を踏む者の直ちに感得する處であつて而も豫想以上に進步發達せる事は

◇何人も首肯　する處であらう各般の產業に就ては未だ語るべき材料の多くを持て居らないが教育界に就て予の感想を語れば『悉く眞劍である』と云ふ一語は在朝鮮の內地の教育者を說明して餘りあるものであらうと思ふ、我々一行は高等普通學校附屬普通學校に於て朝鮮人子弟に施す小學程度の教育の實地を視察試驗的に各學科に就ての學藝を實見する事を得た普通學校に於て

◇最も感服　したるは國語の進步である本年四月入學の兒童が流暢正則な國語に由つて讀書し談話をする事は我々をして驚嘆せしむるものが有つた先進文明の歐洲各國が其の殖民地に於ける國語教育は永い年月の間苦心を費して猶且つ其の成果は思ふ程に收め得られないのに比して我邦は斯くの如く理想的に國語の好成績を擧げ居るを見て如何に教育の任に當る者が

◇眞劍に努力　して居るかを窺知する事が容易である、と共に我國民が朝鮮人に對し如何に厚き同情と理解とを持つて居ると云ふ一面を遺憾なく窺ひ得るではあるまいか學校としての設備に至つても極めて新式の方法を用ひて居る斯かる施設の下に文明教育を受ける朝鮮人子弟は甚だ幸福なりと謂ふべきである其の

◇一例を擧ぐ　れば目下內地では教科書以外の補助讀本を制定したいと一部の進步した教育者の間に運動が起つて居るが朝鮮には既に此の補助讀本に相當して居るものが出來て居る、又た總督府編輯課に就て教科書編輯の方針を聞く事を得たが其の方針と編輯法とは實に理想的にして間然する處がない、其の國語教育が目的の如き効果を擧げて居るのも一つは教科書編輯法が

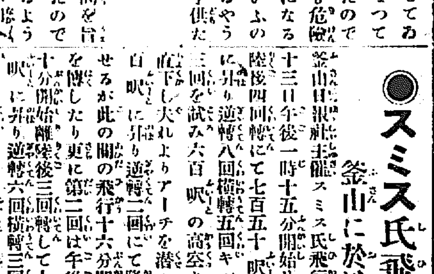
◇其の宜しき　を得て居る事が與つて力あると思ふ、理解、融和、同化と云ふ樣な事も第一番に國語の普及發達を俟たなければ百の努力も其の甲斐はあるまいと思はれる栗原氏が朝鮮の教育を視察して中央公論誌上にて論じて云ふのに『朝鮮の教育は其の形式に流れて精神的方面が閑却され其の方面の權威は專ら外人の手に在り』と云ふやうな事を言つて居るが

◇形なき精神　とは如何なるものを指すや甚だ漠たる感なき能はず一の異つた民族を教育するに先づ形より入らずして直ちに內的精神的に之れを教養し得べきや內地の教育に於ても未だ精神的教育は充分ならず況や始めより國語を解せざる子弟を精神的に教育し得べきや少數の米人か僅かに

◇朝鮮語を解　して其の精神界を司配し得たりとも受取り難き事なり、要するに朝鮮人子弟が我が國情を解し精神的に日本國民としての自覺を得るはやはり國語を熟解しての後の事である(未完)

◉開拓の朝鮮人蔘を改良する爲めに毎秋來鮮する三宅驥一博士は自分の實驗室に微ばかりを蒐めて居る▲微はもちろんみかんに寄生するありふれたものから世界中の珍微が四五百種もならんで居る▲中にも最近和蘭から取寄せた微は最も手數を要した奴で此のごろ同國からの貨物は總て英國で押收されるからとう〳〵外務省から和蘭公使館に交渉して來たといふ▲博士は研究の間に偶然蛋白質を分解する微を發見しただん〳〵それを研究して見ると澱粉にも脂肪にも働らくものであつた▲それで博士は『プロテアーゼ』といふ消化劑を造つたが此の藥は昨今非常な賣れ行きださうな▲此の藥は『ヂアスターゼ』は素より豚の胃から採る『ペプシン』と動物の膵臟から採る『パンクレアチン』と三つ合せた丈けの効力があつて胃にも腸にも有効である▲をして『タカヂヤスターゼ』よりも外人向きであるから博士は大に外國の金を取りかへしてやると意氣込むでゐる

◉正誤　昨夕刊第二面欄『一縷の望み途絕ゆ』の記事中十五日とあるは十三日十四日とあるは十二日の誤植に付訂正又同夕刊三面欄『京城で虎疫警戒』中『京城龍山では』とあるは『京城釜山間』の誤植に付訂正す



水の滴るやうな艶美しい黑髮とする

ホーカー美髮液

□御參考□
■髮の色艶をあくまで麗しくする
■いつも艶々しい濡羽色となる
■チヾレ毛クセ毛がなほる
■香らず、いつもサラ〳〵として
■フケが出なくなり、逆上を去る
■毛髮の發育を助け
■拔毛を止め香水代用となる

定價　大三十五錢　小二十錢　送料　內地無料　滿鮮三十錢

全國到る處の小間物化粧品店藥店に販賣す若し品切の節は本舖宛直接振替又は三錢切手代用にて御注文を乞ふ

本舖　堀越嘉太郎商店
電話神田特長一四三〇長一四四〇一四五　東京神田和泉橋　振替東京一五六

神經衰弱　特効

ユーキリン

榮養ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神經衰弱、陰萎、榮養不良、結核諸症、腺病、重病回復期ニ適ス

粉末　廿五瓦入金七拾五錢　錠劑　百錠入金八拾錢

本品ハ帝國大學教授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木博士ノ創製ニ係ル吸收性同化性ノ理想的有機性燐劑ナリ說明書進呈ス、各地有名藥店ニテ販賣ス

東京室町　三共株式會社

內科　小兒科
京城府明治町二丁目(本町江戶川横より入る)電話三七八番
入院隨意(普通病室隔離病室)
中島醫院
院主　中島貞信

大阪　京都　福岡　大學病院各指定品

純良　赤門葡萄酒

滋養補血には赤門葡萄酒に限る

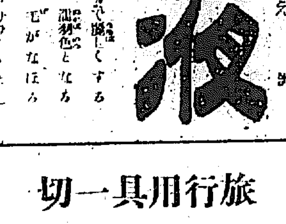
大阪道修町　小西商店洋酒部
到る所の信用ある藥店洋酒罐詰店にあり

移轉擴張廣告

愈々新秋の候各位益々御清祥之段奉賀候陳者弊店儀從來櫻井町に於て營業罷在候處店舖狹隘の爲め左記の處に移轉仕候就ては披露の印ご兼て御愛顧各位の御厚意に酬ゆる爲今十四日より二十日迄一週間現金賣に限り定價より二割引破天荒の大安賣を以て賣出致候間多少に不拘御用命被下度願上候

京城本町三丁目四ツ角松金前
源平精肉店
電話二七二番

旅行用具一切



鞄製造販賣
京城本町一丁目
高木旅行用具店
電話一三四番

機を捕ふるに敏なれ

株式暴落により絕好の買場所を造れり惡材料出盡し、市價は採算以上となり、貿易は順調金融は依然として緩漫期に資產家の出動を促し來れり此機を逸せず買へ現株は決して危險に非ず當店は懇切に御取扱可致候

京城明治町二丁目四十三番地
株式現物　合資會社　桐生屋株式店朝鮮出張所
電話長一一二六番

櫻御殿

大阪 霞の家主人

第十五回

戀爭ひ（六）

『お上、在らせられまするか、お上、お上』と道齋は次の間から呼んだ
正則は平野遙かに、月の照る稲田を見遣つて、盛んに盃を擧げて居た
『誰ぢや』
近習の武士は呼んだ
『道齋でござります』
近習はその旨を披露する、正則は
『近う』と云つた
道齋は許されて裡面へ入る、故意と遠く〳〵遣つた銀燭が漫並も黯る
『申し上げたいことがござります』

月の光りのさゝぬ燭臺の下に平伏して、道齋は心あり氣に云つた
『何事ぢや』
正則は此方を振り向く、得意な色が半面の月に輝く
『不義兒がござります』
『何んと云ふ』
『然も、それのお庭前で……男女が忍び會ふて居りまする』
『お主見つるか』
『現當に見て參りました、御場所柄も顧みず、怪しからぬ仕方、きつう御成敗遊ばさずばなるまいと心得ます』
道齋の舌には毒があつた、己が手引きして逢瀬の橋を架しながら、却つてそれを内訴して、男女を罪に落さうとした、彼は初瀬に横ざまの戀をして、夫となく心を引いて見たが、初瀬は一心に清之丞を思ひ込んで、些も他を見ようとしなかつた、三左衞門を使嗾して、その間に鎬を削らせ、おのれ漁夫の利を得ようとしたが、それも捗々しく行かぬので、いつそ叶はぬ戀ならば、二人に自滅を取らさうと考へた、あは好くば、そこに何とか手術を設けて、初瀬の心を引き付けようと考へた、正則は驚くして
『誰手は？』と訊いた
『松尾清之丞殿、女は初瀬どのでござります』
『清之丞？、清之丞？』と正則は口の中に繰り返したが『憎い奴ぢや』
『罪科は清之丞どのに重う掛つてござります、初瀬どの御奉公に餘念無くあらせられたを、清之丞どの手術をもつて、お庭前へ呼び出し召されたた、その儀、道齋具に見知つてござります』
『憎い奴ぢや』
『嚴しく御成敗あらせられずば、此家の政道立つまじく心得まする』
『勿論ぢや』
『殊に井伊樣本多樣、近くはまた池田樣（輝政）外々大名衆御逗留、此細なことから御家名に疵が付いては、御一代の御恥辱と心得まする』
『勿論ぢや』
『いざ』と道齋は初めて面を擡げて『來しませ『手前御案内申しまする』
『何れへ？』
『不義兒の媾曳して居まする處へ……』
『見たう無い』
『は』と道齋は頭を下げる
『憎い奴ぢや』
『は』
『我等を盲目同樣に致し居る』
『御意でござります』
正則は大聲揚げて
『誰ぞ』と呼ぶ
その聲に應じて、屈強の壯士三人、次の間に立ち出づる
『道齋を引き立て〳〵』
『はツ、はツ』と壯士は道齋の側へ寄つた
『御諚ぢや立ちませ〳〵』
道齋は案に相違した、慄ひながら兩手を上げて
『滅相も無い、手前に何んの罪科でござります、不義の相手は他にござります』と辯解らしく云つた
『清之丞は其方の友でないか』
正則は怒り聲で問ふ
『御意にござります』
『友の内事を訴人する程の不義はない、清之丞を成敗する前、まづ其方の首を刎ねる、『躊躇無く庭に引け』
正則は重ねて下知した、壯士は顫袗を引き掴んで庭前へ引きおろす
さしもの月が一時に曇るようであ

西洋料理 電氣すき燒 ハイカラ丼
おいしいと京城第一との高評を博し居り候
南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

日報俳壇

墓　求刀
移り住みて歲舊る門や墓　同
臼を起せし墓道ひ出でゝ庭の月　同
出水後の庭道ひ居るや墓　同
徹雨更けて焚かぬ竈や墓　同
紛爭の儘に腹ゐり墓　同

蜩
捕蝿器が動けるのみの客間哉　其瓶
蜩の酒家暖簾下げた二タ間あり　亭午

日向葵
踏切番の旗振る夕日日向葵に　天水

土用
被服庫の哨兵に土用の西日哉　隈山

旱
橋杭を燒ける畑も旱哉　非水
鹽田の水泡立てる旱哉　同
湖離ての連峰丸き旱哉　琦好
田尻看廻はる褲の瞹や旱風　拓川
橋下に泥乾破れ居る旱哉　琦好

若葉
瀧の響きに若葉や月に震へ居る　花翁
外風呂に跳上げ泥や柿若葉　同
町の灯の瞬いて居る若葉哉　蘆村
汽罐車の煙吐き過ぐ若葉哉　懲蕉

灯取虫
夜搗きする裸灯搖れて灯取虫　琦好
その湯香にむくろとなりて灯取虫　同
神の灯に渡る微風や灯取虫　同

□黎明俳句會選句
貝の盛空散水車計り稲いてゆく　浪江
隣り家の向日葵覗く夜番哉　同
由吹や沼は靜かに月の浮く　同
井戸底に釣瓶とゞくや蟬の聲　天月
蚊帳の月青海原を離れたり　同
衝突の煙眞直ぐや蟬の聲　同
廢船のペンキはげたり夕立哉　參之助
蜂茶屋ぜと語らふ居哉　凰
自然の日傘雕ぶや渡舟　曉陽
水底の風鈴の響や夕涼　同
鈴蟲の鳴くや月下の萩の風　秋月
時雨降る淋しき窓や寐合せ　多一

新刊紹介

▲活動寫眞雜誌（十月號） 興業の權威として娛樂界に寵兒たる活動寫眞の専門の雜誌たる此の雜誌の寫眞と記事を見て活動行を豫約するも好し更に此の雜誌を讀で活動寫眞を見物せば一層の妙趣を味はふことを得べし兎も角三百頁の大雜誌にて一部二十八錢とは安いものなり（東京赤阪一ツ木六五共社）
▲エバナシ（十月號） 極彩色五色オフセツト版の美麗なる子供向きの繪双紙なり（一部九錢東京牛込甲良町二三東京出版社）
▲日の丸（十月號） 是も極彩色五色オフセツト版の可愛らしき小兒の喜びさうな雜誌なり（一部十錢東京澁谷東エビス文政社）
▲日本幼年（十月號） 是も赤同様極彩色版の面白さうな繪話雜誌なり（一部十錢東京京橋區疊町一東京社）
▲戰時畫報（一五） 毎月二回刊數にて發行する精緻なるコロタイプの如き二色刷アートタイプにして一冊五錢とは安いものなり（各賣店取次）
▲活動の世界（十月號） （活動寫眞原論規則の研究 朝野三十名家縱横談、米國パテ會社研究、新映畫批評、カナード精研事情、各國俳優錄、世界大寫眞紹介、其他斯界、例月記事益々豐富（一部二十八錢東京本郷區森川町共社）

◉實業子弟の福音 歐洲大戰亂の結果は我が帝國の實業發展を促すと同時に我が實業界は實業新知識を有する青年を要求すること最も切なるものあり、故に東京市京橋區南鍋屋町、實業之日本社内帝國實業講習會では天下の大實業家や大教育家等に計り、學校に行く能はざる多くの實業子弟が居ながら學校へ行つて勉強すると同等に新知識がつく樣に仕組んである中學程度の『實業講習錄』を月二回發行して居る、その實際の役に立つ實業的學問を教へて居る、直ぐに實業講習錄の見本は同會へハガキで申込めば無代で進呈する由

◉死んだ高倉藤平君

△華城財界の手腕家堂島取引所理事長北濱銀行頭取高倉藤平君の死は實に悼む惜むべきである、大阪實業界の名物男として腕利の聞ね高かつた氏を突然亡ふたは大阪の損失である。
△しかし君の死去は決して不死ではない、兼ねが別に臨終になつて行欄んでみると云ふ問題もない、彼の岩下事件の後を承け杉村氏が挫子拥つて此を投げた北濱銀行の整理も高倉君が引受けて着もなく片附け最近何時にても辭任し後繼者に讓り得る迄に至つたは君の手腕の凡ならざるを示すものである
△君は泉州岸和田在の生れで最初堂島仲買に奉公し間もなく獨立して店を出したが素より裸一貫で郷里を出たのであるから惡戰苦鬪は云ふ迄もない、無理算段で思惑をなし失敗して兄弟親類にも見離され大晦日の夜懷中無一物で餅も搗けぬ始末に義理の姉に無心して一圓の小遣ひを貰ひ夜中四ツ橋を通つて株の失敗で投身しやうとする一刹那大悟發奮し努力の前に不成功はないと家に歸り一圓で餅を搗いて初會を待つて再び力戰を續けた、この頃が君の奮鬪史の第一頁である。
△其後七轉八起健鬪を續けて具さに投機界の苦惱を甞めたが、日露戰役の頃から盛りを取り出し戰後の財界混亂に際して大當りを占め一躍堂島取引所監査役に推薦され堂島と北濱に店を出し漸次地位を得て今日に至つた、君の成功は寧ろ努力奮鬪の賜もので持餘した古鐵が飛上つたりして偶々欧洲の大亂に因つて思はず夢の如くに成金になつた輩とは全く選を異にしてゐる、君の履歷には學ぶべき事も少くない
△高倉藤平君享年四十四、大阪の實業界に尚未來ある一人物を失ひ彼を惜む者必ずしも知己の人ばかりでは無い、秋風落莫の感に堪へぬ（大阪支局記者）

くだりはらの
氣持よく止まる
健胃固腸丸
大阪 谷田春堂
到る處の藥店にあり
價 十五錢 廿五錢 五十錢 一円 三円 五円
食傷、寢冷、時候あたりより起る下痢、腹痛を治す
◉用ひ易き小粒製健胃固腸丸あり
◉小兒には特製の小兒固腸丸あり

◉りん病ばい毒 專治 藥 出來
口にせドラッグあり御注意

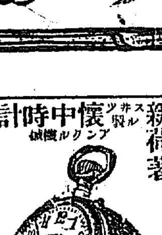
近來東京其他各地に偽ドラッグあり購者をうれさる様御用心あれ京城にて賣るドラッグ以外に於て求むる商品はドラッグ商會と稱する者あらば全く詐欺漢なり
詳細九月十二日の本紙御覽
京城南大門外停車場通 花柳病專門藥房 ドラッグ商會 本部 滿鮮
電話二五六七番 振替京城四六七番

朝夕の一杯は百藥に優る
赤玉ポートワイン
美味＝滋養＝純生粋葡萄酒
七大醫學博士の賞讃と證明を有する赤玉ポートワインは名實共に全き模範葡萄酒にて多年の實驗と學理とを應用し到底他品の摸倣し能はざる特別醸造法に據る葡萄酒である故に健胃。補血。興奮。强壯の効顯著なる點に於てすでに大醫方の藥局に於て滋養藥餌として採用されつゝある葡萄酒にて加ふるに天然の美味を保有し居るが故に婦人小兒の口にも適する一般家庭に常備すべき葡萄酒である
類似品あり赤玉印に御注意

赤玉生葡萄酒 赤玉規那鐵葡萄酒 本店

御會葬御禮
長男善藏葬儀の節は殘暑の砌遠路御會葬被下御芳情の段難有奉深謝候一々拜趨御挨拶可申上の處取込中御申洩も可有之候に付乍略儀右紙上を以て御禮申上候 敬具
父 鬼頭兼次郎
鬼頭千藏
鬼頭辰次郎
鬼頭間逸
齋藤進
蜷川大一
友人 同
親族總代

御佛具調進所
京城本町三丁目七七（花月前）
木倉佛具店
電一五一七番 振替五二元

新荷著 スヰツル製 懷中時計 アンクル機械

懷中時計（▲印はラウーム入）
ニッケル側十八形 二、五〇 片蓋 アンクル
同 ……
腕卷時計（▲印はラッチーム付）
右は今回新荷の商品にて本商會に於て御取次致し候間御引立の程奉願上候
御遠方の御方は代金引換又は小包郵便にて御送附可申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
インクレッシー商會
本店 京城本町二丁目 電話九七二番

贊化病院
京城明治町一丁目 電話二四番
内科 小兒科 入院隨意
毎日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治
岡山醫學士 上野亮藏

商況
大阪株式特電
十三日前場 合同紡織 新紡 鐘淵紡績 同新株 東洋製糖 大阪商船 日本郵船 ……
十三日後場 ……
下期米付電
▲十三日後場 兵庫後寄……
▲倘小相場平
大阪回復乎
……